

南勢志摩こころの健康意識調査  
報告書

平成18年3月

三重県南勢志摩県民局保健福祉部



# 目 次

---

1	調査の概要等	
(1)	調査の概要	2
(2)	利用上の注意	3
2	調査の結果	
	【あなた自身について】	
(1)	性別・年齢【問 1】	5
(2)	市町村名【問 2】	6
(3)	職業【問 3-1】	9
	就業形態【問 3-2】	10
	職場の総人数【問 3-3】	11
(4)	家族構成【問 4】	12
(5)	健康感【問 5】	13
(6)	健康への配慮【問 6】	14
	【こころの健康づくりについて】	
(1)	相談相手の有無【問 7】	15
(2)	精神科受診【問 8】	16
	精神科を受診しない理由【問 8-1】	17
(3)	精神科以外の窓口【問 9】	18
	知っている精神科相談窓口【問 9-1】	19
(4)	ストレスとうつ病について【問 10】	20
(5)	うつ病患者への対応【問 11】	21
	うつ病患者への対応(3区分)【問 11-1】	22
(6)	希死念慮【問 12】	23
	死んでもかまわないと思った理由【問 12-1】	24
	性・家族構成と希死念慮	26
(7)	うつ症状の有無【問 13-1】	27
	うつ症状の内容【問 13-2】	28
	【健康感・健康への配慮とこころの健康づくりについて】	
(1)	性・健康感と相談相手の有無	30
(2)	性・健康感とストレスとうつとの関係	31
(3)	性・健康感とうつ病患者への対応	32

(4)性・健康感とうつ病患者への対応(3区分)	33
(5)性・健康への配慮と相談相手の有無	34
(6)性・健康への配慮とストレスとうつとの関係	35
(7)性・健康への配慮とうつ病患者への対応	36
(8)性・健康への配慮とうつ病患者への対応(3区分)	37

【職業と各項目について】

(1)職業と性別・年齢	38
(2)職業と市町村名	39
(3)職業と就業形態	40
(4)職業と従業員数	41
(5)職業と家族構成	42
(6)職業と健康感	43
(7)職業と健康への配慮	44
(8)職業と相談相手の有無	45
(9)職業と精神科受診	46
(10)職業と精神科受診しない理由	47
(11)職業と精神科以外の窓口	48
(12)職業と知っている精神科以外の窓口	49
(13)職業とストレスとうつ病との関係	50
(14)職業とうつ病患者への対応	51
(15)職業とうつ病患者への対応(3区分)	52
(16)職業と希死念慮	53
(17)職業と希死念慮理由	54
(18)職業とうつ症状の有無	55
(19)職業とうつ症状	56

3 調査票	57
-------	----

---

## 1 . 調査の概要等

## (1) 調査の概要

### 1. 目的

南勢志摩地域の自殺死亡者の増加率は全国の中でも高い傾向が見られる。

自殺の背景には、ストレスの増加やうつ病などのこころの健康問題が存在するといわれている。そこで管内住民のこころの健康状態や、健康づくりに対する意識についてのアンケート調査を実施し、現状把握や今後の取り組みを検討するための基礎資料とする。

### 2. 調査方法・対象・回収結果

対象は管内の特色である観光・漁業関係者を中心とし、保健福祉部で調査可能な理容・美容業、漁業（真珠・のり養殖業含む）、飲食業・食品関係業者とした。

種別	調査対象者	調査対象者数	回収数	回収率	抽出法	調査方法
理容・美容業	衛生消毒講習会受講者	237	149	62.9	全数調査	集合調査法
漁業（真珠・のり養殖業含む）	真珠養殖組員	621	515	82.9	全数調査	協力員による留置調査法
飲食業・食品関係（伊勢地区）	食品衛生責任者再講習受講者	224	190	84.8	全数調査	集合調査法
飲食業・食品関係（志摩地区）	来庁飲食業・食品関係者	不明（把握できず）	59	不明	全数調査	窓口調査法
計		1082（志摩地区飲食業・食品関係除く）	913	79.8（志摩地区飲食業・食品関係除いた率）		
有効回収数計			887（26枚は白紙回答）			

### 3. 実施期間

平成17年10月1日～12月25日

### 4. 調査項目

調査対象者の基本属性及びこころの健康状態や、こころの健康づくりに対する意識について必要な項目（13設問）

調査項目の大別

あなた自身について

こころの健康づくりについて

健康感、健康への配慮と各項目との関係

職業と各項目との関係

---

(2) 利用上の注意

- ・ 表、グラフ中の構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、その合計が100%にならない場合がある。
- ・ クロス集計では未回答を除いているため、合計は全体と一致しないものがある。
- ・ 各設問の回答結果グラフは未回答を除いた数を基数として割合を表示している。
- ・ 図表のタイトルにある(SA)はシングルアンサーの略で、選択肢の中から1つだけ選ぶ設問である。
- ・ 図表のタイトルにある(MA)はマルチアンサーの略で、選択肢の中から複数選ぶ設問である。
- ・ 問11-1 うつ病患者への対応 3区分  
良い対応：問11で7,8単独か両方に回答  
まあまあ良い対応：問11で2,2,7,2,8に回答した者  
あまりよくない対応：問11で1,3,4,5,6を含んだ回答
- ・ 問13  
問13-1：うつ症状の有無(一つ以上の者を有)  
問13-2：うつ症状項目毎の集計

---

## 2 . 調査の結果

## 調査の結果 「あなた自身について」

### (1) 性別・年齢

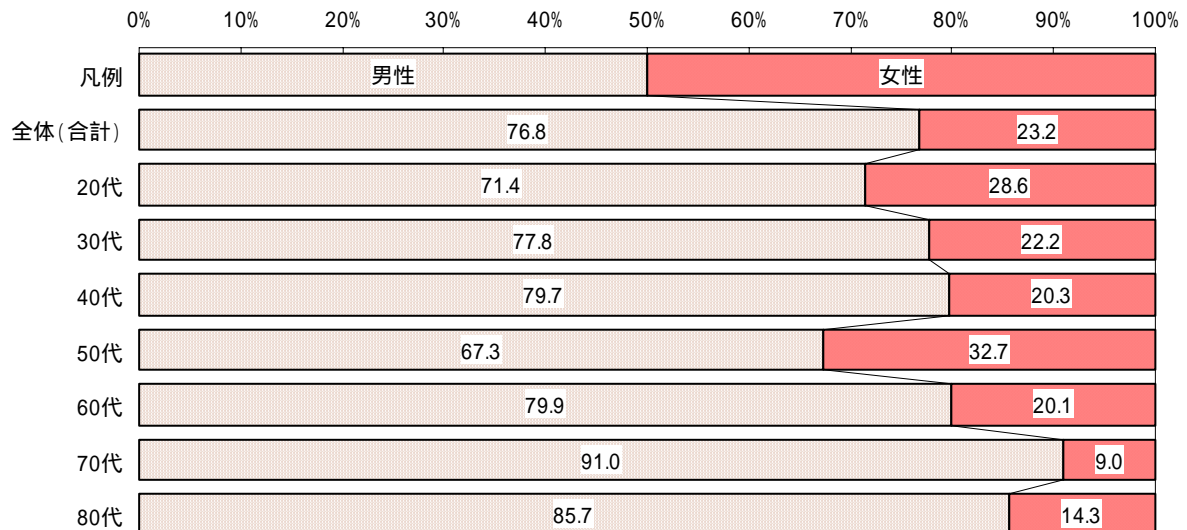
問1 性別・年齢について記入してください。

(性別はどちらかに 印、年齢は平成 17 年 10 月 1 日現在の満年齢)

調査対象者の性別の状況は、男性が 76.8%、女性が 23.3% で、全体では女性に比べ男性の方が多く、また、年齢別に見ると、男女共に 40 代～60 代が多く占めており、20 代～30 代及び 80 代が少なくなっている。

図表 性別・年齢 ( S A )

年齢	男性 (人)	女性 (人)	未回答 (人)	総計 (人)	構成比 (%)
20 代	5	2		7	0.8
30 代	42	12		54	6.1
40 代	122	31		153	17.2
50 代	169	82	2	253	28.5
60 代	215	54		269	30.3
70 代	91	9		100	11.3
80 代	6	1		7	0.8
未回答	9	8	27	44	5.0
総計	659	199	29	887	100.0



(2) 市町村名

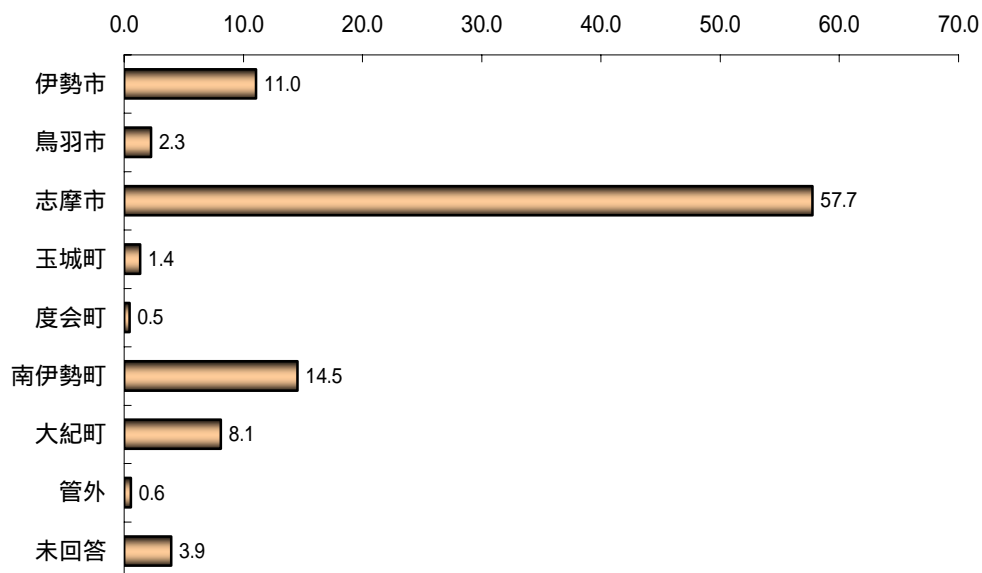
問2 あなたのお住まいの市町村名はどこですか？（平成 17 年 10 月 1 日現在の住民登録をしている市町村の名前を記入して下さい。（伊勢市については旧市町村名を記入して下さい）

回答者の居住地は、志摩市が最も多く 57.7%を占め、次いで南伊勢町が 14.5%、伊勢市が 11.0%、大紀町が 8.1% などの順となっており、その他の地域については約 4%未満となっている。

図表 市町村名（SA）

選択肢	件数(人)
伊勢市	98
鳥羽市	20
志摩市	512
玉城町	12
度会町	4
南伊勢町	129
大紀町	72
管外	5
未回答	35
(合計)	887

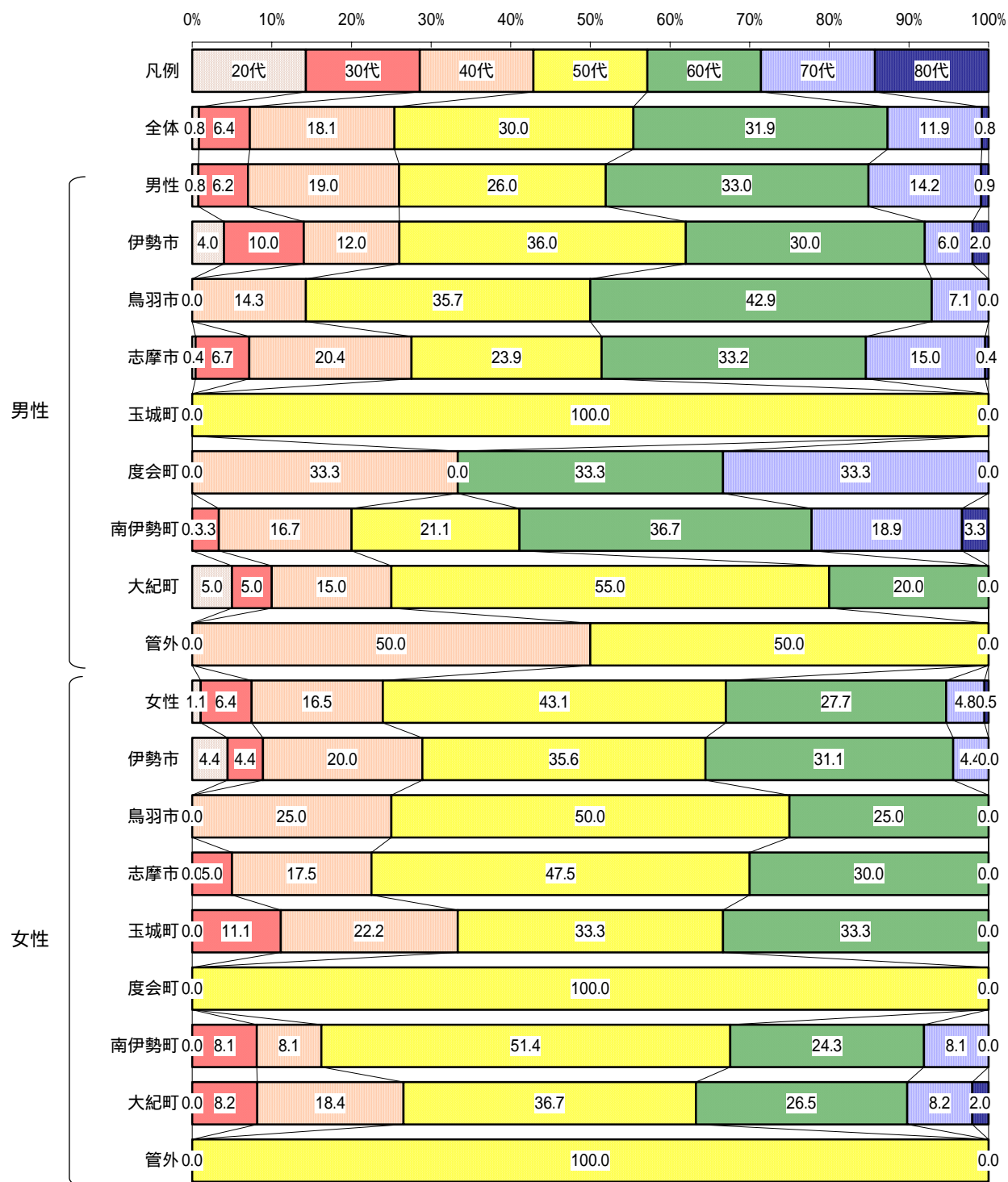
構成比(%)



図表 市町村名・年齢・性別（S A）

性別	市町村名	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計 (人)
男性	伊勢市	2	5	6	18	15	3	1	50
	鳥羽市			2	5	6	1		14
	志摩市	2	31	94	110	153	69	2	461
	玉城町				3				3
	度会町			1		1	1		3
	南伊勢町		3	15	19	33	17	3	90
	大紀町	1	1	3	11	4			20
	管外			1	1				2
女性	伊勢市	2	2	9	16	14	2		45
	鳥羽市			1	2	1			4
	志摩市		2	7	19	12			40
	玉城町		1	2	3	3			9
	度会町				1				1
	南伊勢町		3	3	19	9	3		37
	大紀町		4	9	18	13	4	1	49
	管外				3				3
総計(人)		7	52	153	248	264	100	7	831

図表 市町村名・年齢・性別（S A）



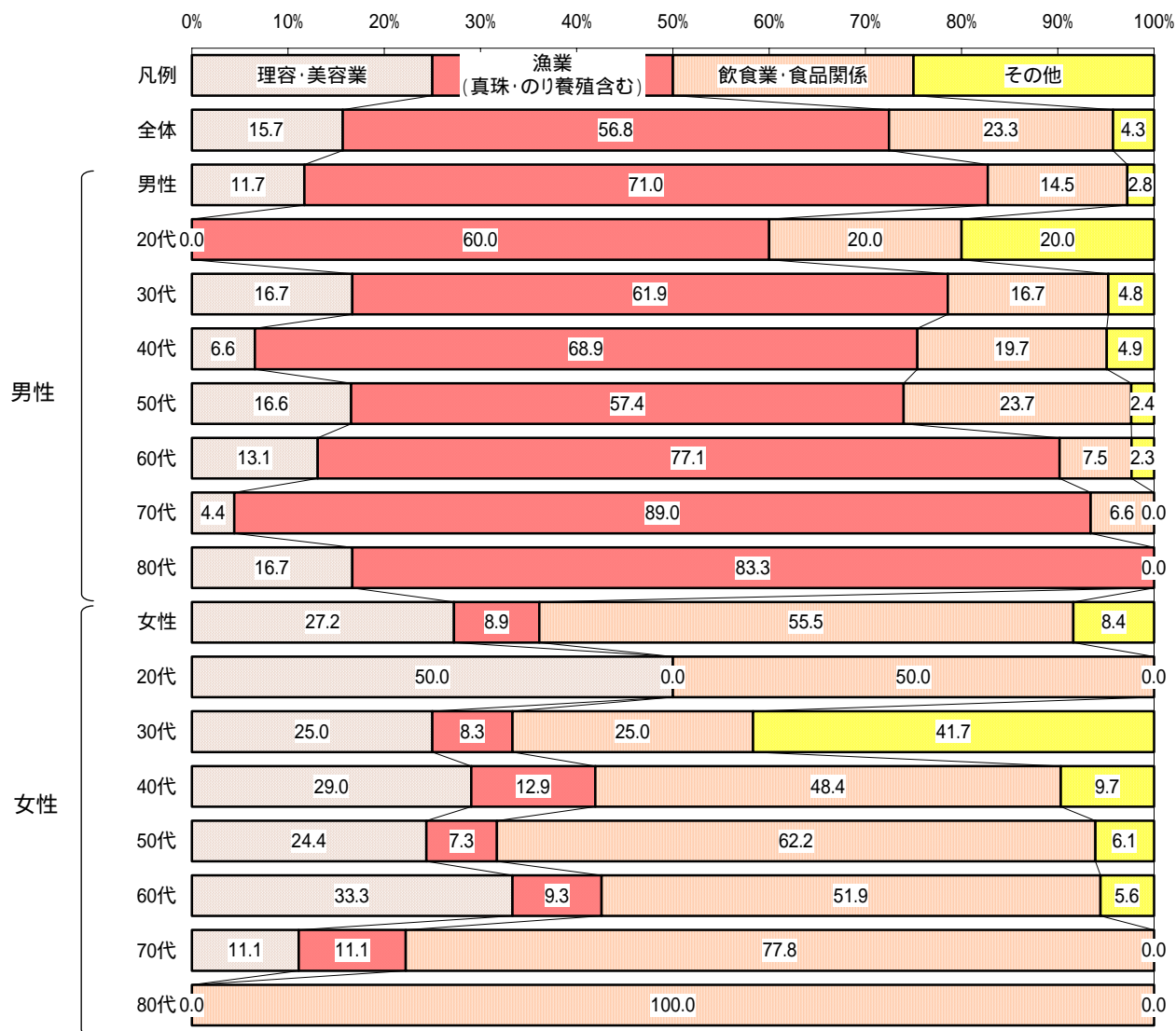
(3) 職業

問3 あなたの現在の主たる職業についてお伺いします。  
 問3-1 職業は次のどれですか？(どれか1つに 印)

回答者の職業は漁業(真珠・のり養殖含む)が56.8%で最も多く、続いて飲食業・食品関係の23.3%、理容・美容業の15.7%の順となっている。また、男性は漁業(真珠・のり養殖含む)を多く占め、女性は飲食業・食品関係を多く占めている。

図表 職業(SA)

選択肢	回答数(人)
理容・美容業	136
漁業(真珠・のり養殖含む)	493
飲食業・食品関係	202
その他	37
未回答	19
(合計)	887



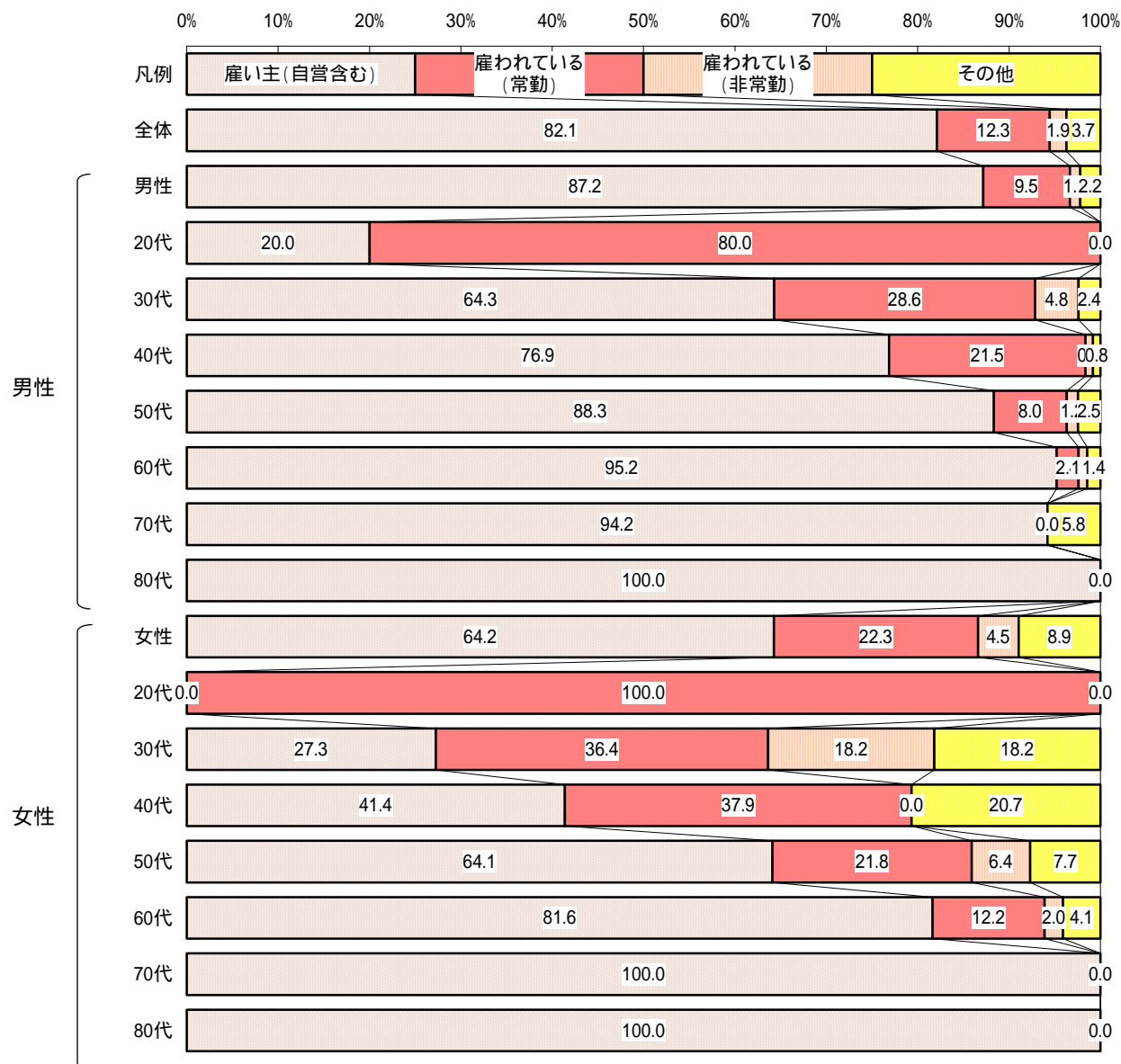
問3 あなたの現在の主たる職業についてお伺いします。

問3-2 就業形態は次のどれですか？（どれか1つに 印）

回答者の就業形態は、雇い主（自営を含む）が82.1%で最も多く、続いて雇われている（常勤）の12.3%、雇われている（非常勤）12.3%の順となっている。また、男女共に年齢が高いほど雇い主（自営業）が多くなっている。

図表 就業形態（SA）

選択肢	回答数(人)
雇い主(自営含む)	686
雇われている(常勤)	103
雇われている(非常勤)	15
その他	32
未回答	51
(合計)	887



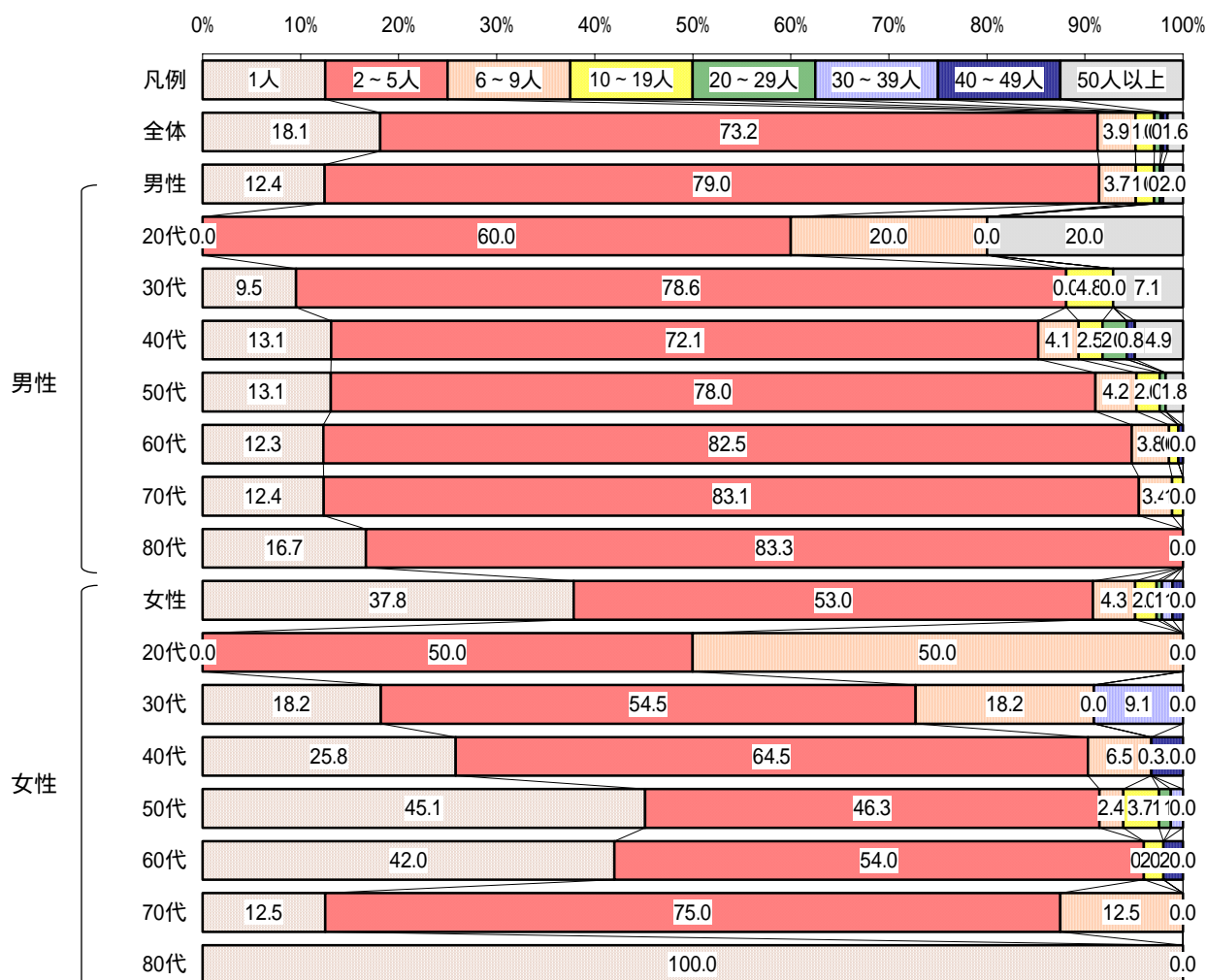
問3 あなたの現在の主たる職業についてお伺いします。

問3-3 あなたの職場の総人数は次の内どれに該当しますか。(どれか1つに 印)

回答者の職場の総人数は2~5人が73.2%で最も多く、続いて1人が18.1%などの順となっており、6人以上は4%未満と少なくなっている。

図表 職場の総人数(SA)

選択肢	回答数(人)
1人	159
2~5人	624
6~9人	33
10~19人	16
20~29人	5
30~39人	2
40~49人	4
50人以上	13
未回答	31
(合計)	887



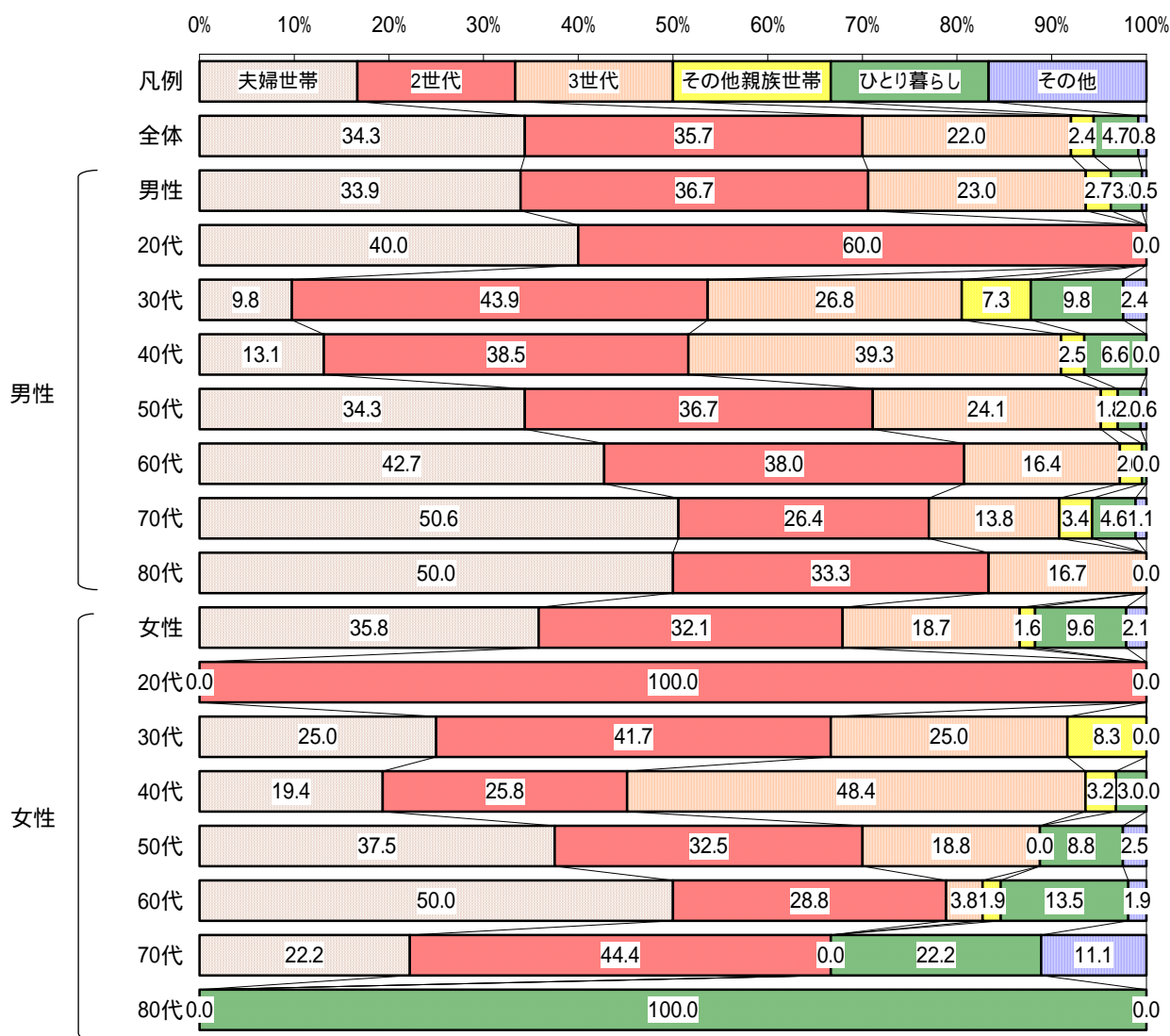
(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成は次のどれですか？(どれか1つに 印)

回答者の家族構成は2世帯が34.3%、夫婦世帯の34.3%でほぼ同数となっており大半を占めている。また、男女共に、20代~30代は2世代、40代は3世代の比率が高くなっている。

図表 家族構成(SA)

選択肢	回答数(人)
夫婦世帯	290
2世代	306
3世代	190
その他親族世帯	21
ひとり暮らし	40
その他	7
未回答	33
(合計)	887



(5) 健康感

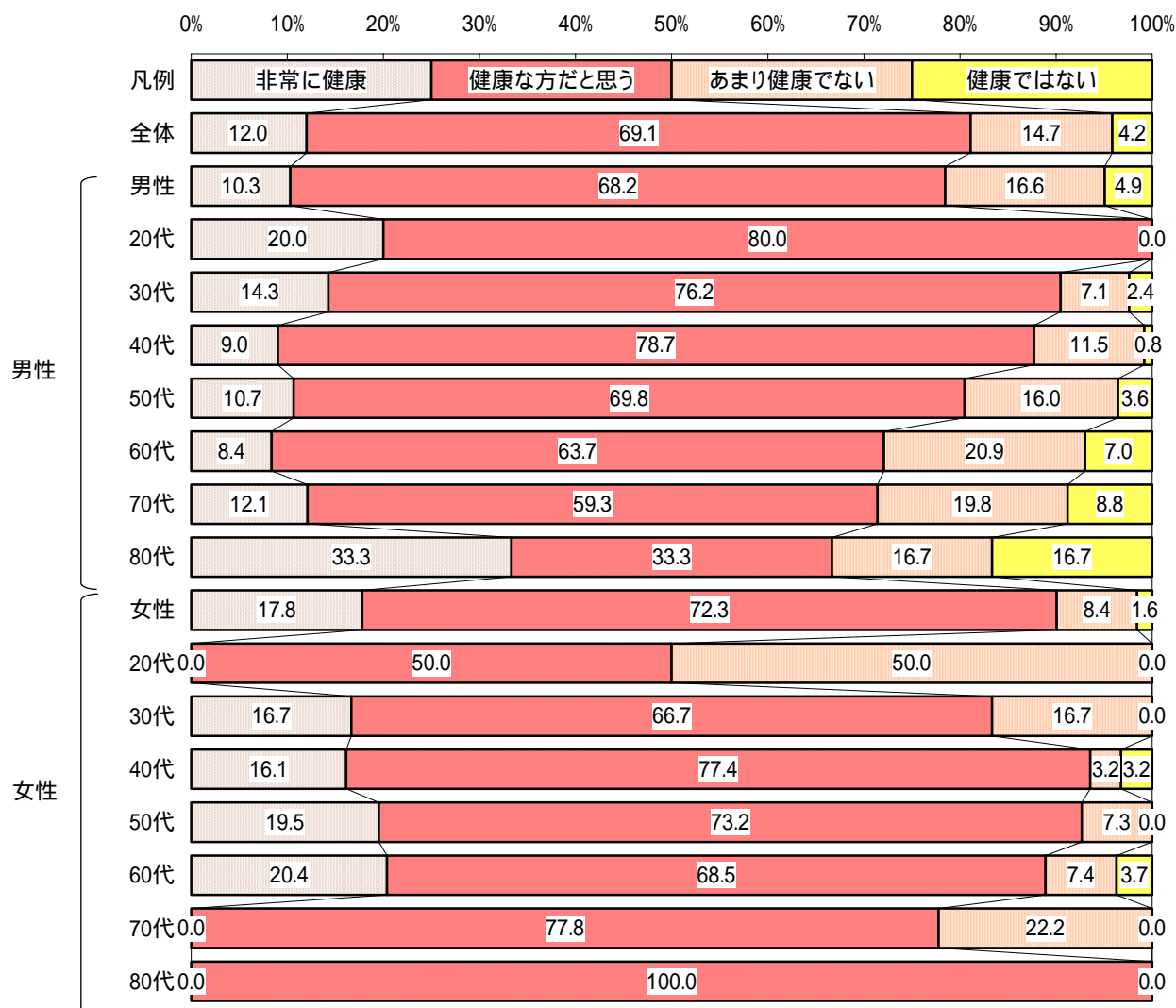
問5 あなたは自分で健康だと感じていますか？(どれか1つに 印)

回答者自身の健康感は「健康な方だと思う」が半数を超える 69.1%を占め、続いて「あまり健康でない」が 14.7% となった。

「非常に健康」と「健康な方だと思う」をあわせると 81.1%となり、一方「あまり健康でない」と「健康でない」をあわせると 18.9%で、健康と感じるほうの比率が高くなっている。

図表 健康感(SA)

選択肢	回答数(人)
非常に健康	101
健康な方だと思う	598
あまり健康でない	132
健康ではない	37
未回答	19
(合計)	887



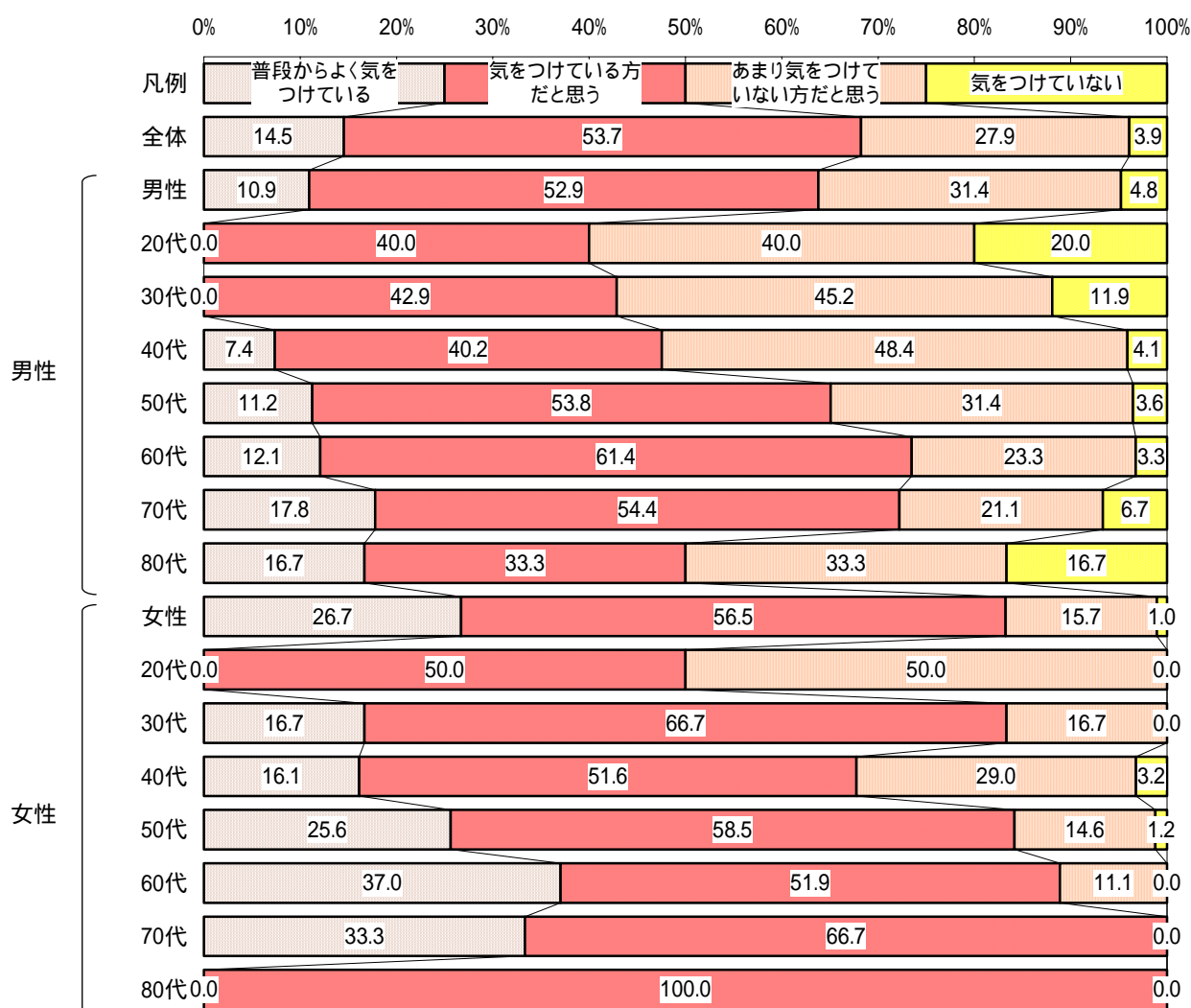
(6) 健康への配慮

問6 あなたは普段から健康に気をつけていますか？（どれかに 印）

回答者の健康への配慮は「気をつけている方だと思う」が53.7%を占め、続いて「あまり気をつけていない方だと思う」が27.9%となった。「普段からよく気をつけている」と「気をつけている方だと思う」をあわせると68.2%となり、一方「あまり気をつけていない方だと思う」と「気をつけていない」をあわせると31.8%で、「気をつけている」ほうが多い。

図表 健康への配慮（SA）

選択肢	回答数(人)
普段からよく気をつけている	126
気をつけている方だと思う	466
あまり気をつけていない方だと思う	241
気をつけていない	34
未回答	20
(合計)	887



# 調査の結果 「こころの健康づくりについて」

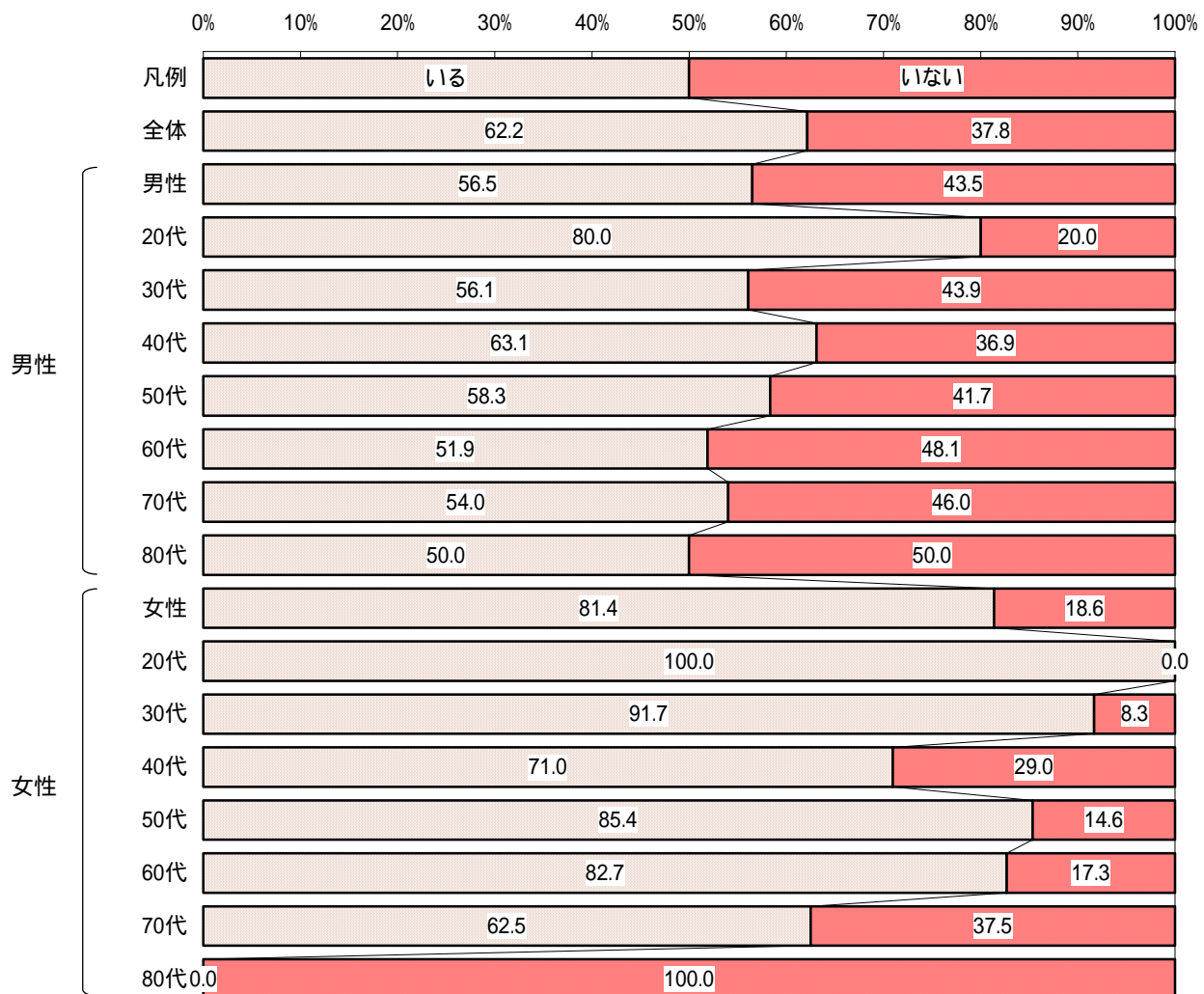
## (1) 相談相手の有無

問7 身近にこころの悩みを相談する人がいますか。(どちらかに 印)

相談相手の有無については、「いる」が62.2%を占める。とくに20代の男女は「いる」の占める比率が最も高い。また、年齢が高くなると「いない」のほうが多くなっている。

図表 相談相手の有無 (S A)

選択肢	回答数(人)
いる	542
いない	328
未回答	17
(合計)	887



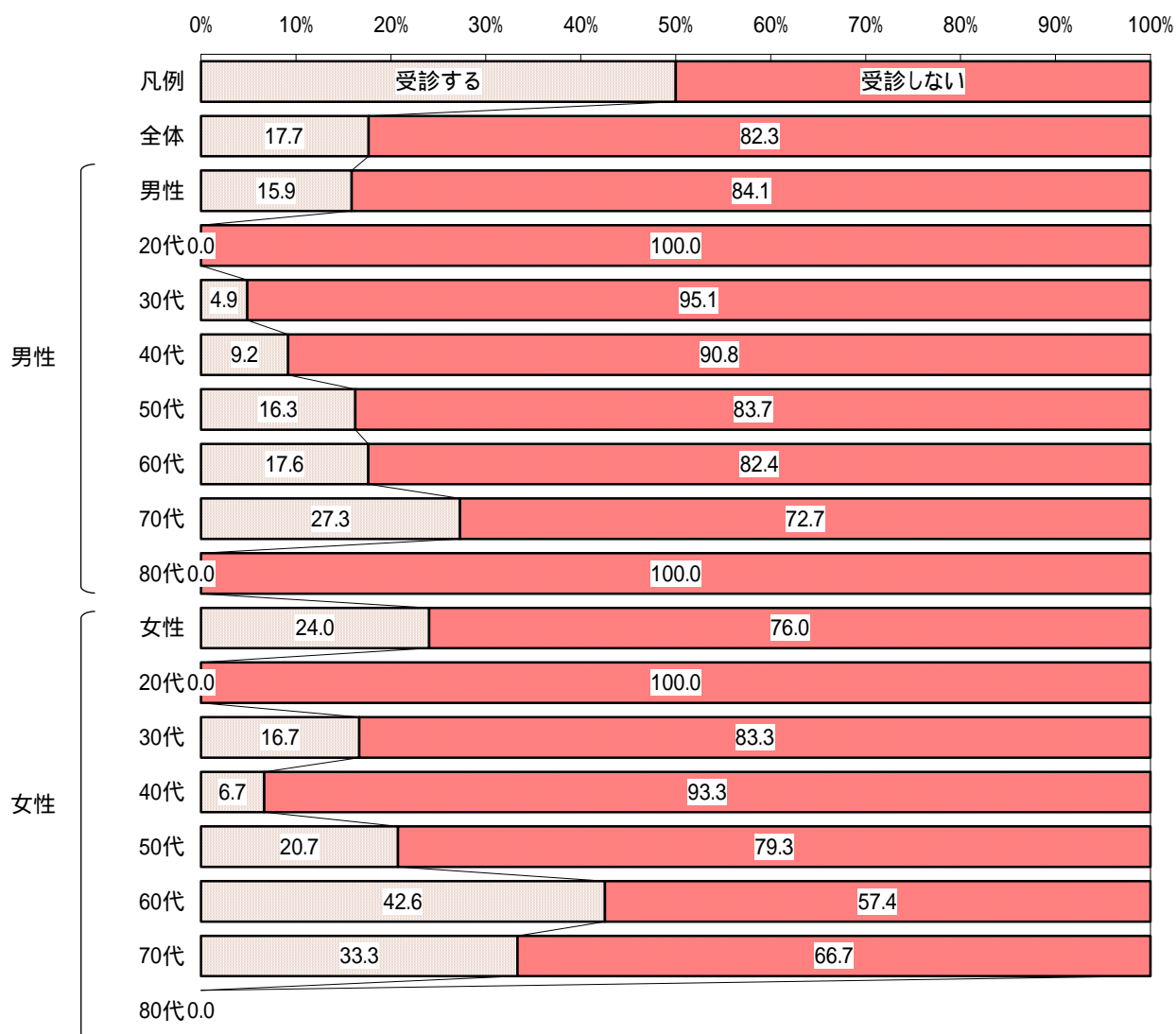
(2) 精神科受診

問8 気分がひどく落ち込んでいて辛い時、精神科を受診しますか。(どちらかに 印)

精神科受診については、「受診しない」が82.3%で比率を多く占め、「受診する」のほうが低くなっている。男女共に年齢が高くなるほど「受診する」が多くまた、「受診しない」の20代は男女共に100%である。

図表 精神科受診 (SA)

選択肢	回答数(人)
受診する	154
受診しない	705
未回答	28
(合計)	887



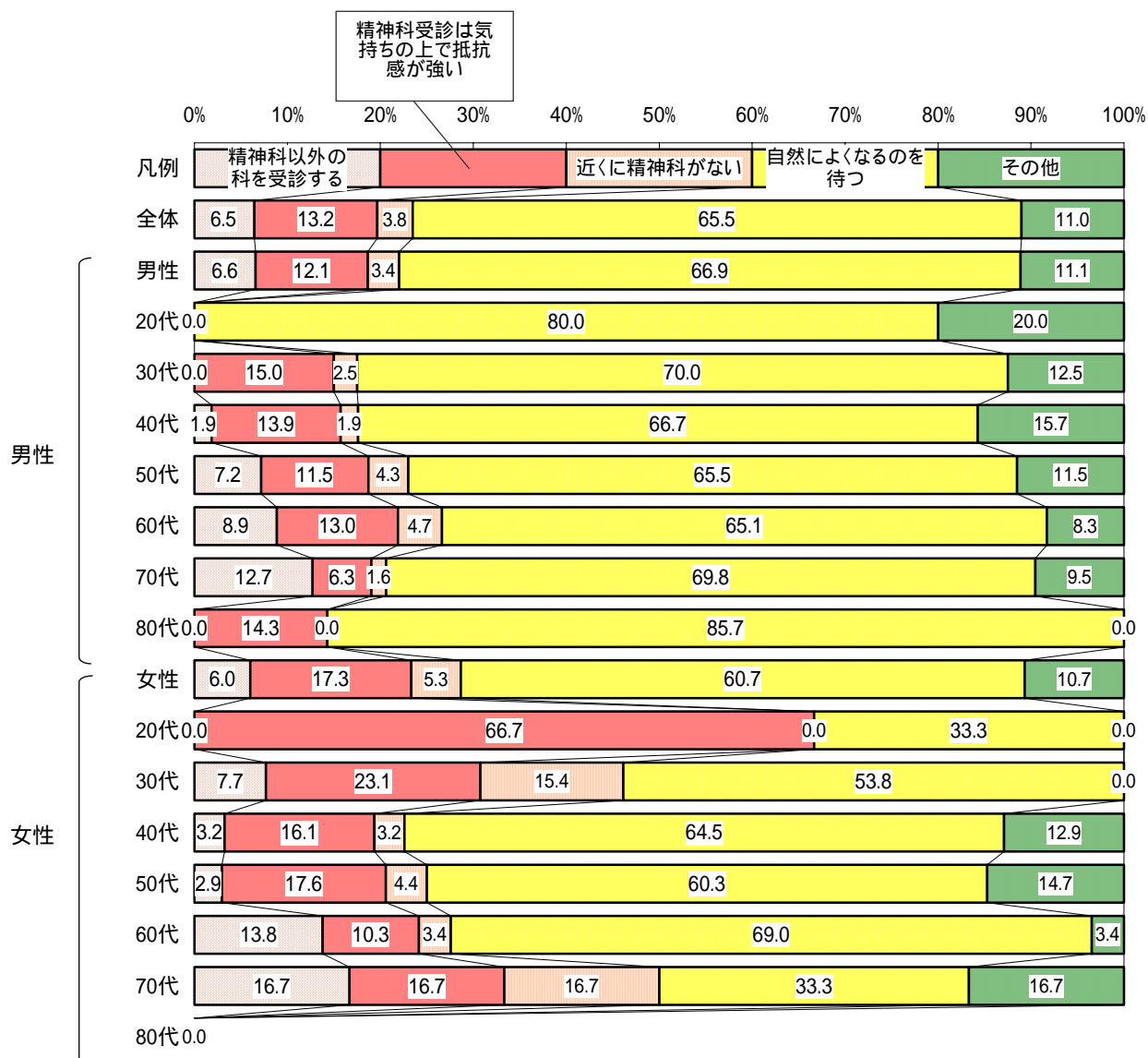
問 8-1 「2 受診しない」と答えた方に質問します。その理由は何ですか。

あてはまるものすべてに 印をしてください。(いくつでも)

精神科を受診しない理由については、「自然によくなるのを待つ」が 65.5%と半数以上を占め最も多く、続いて「精神科受診は気持ちの上で抵抗感が強い」が 13.2%となっている。

図表 精神科を受診しない理由 (MA)

選択肢	回答数(人)
精神科以外の科を受診する	44
精神科受診は気持ちの上で抵抗感が強い	94
近くに精神科がない	32
自然によくなるのを待つ	463
その他	78
(合計)	711



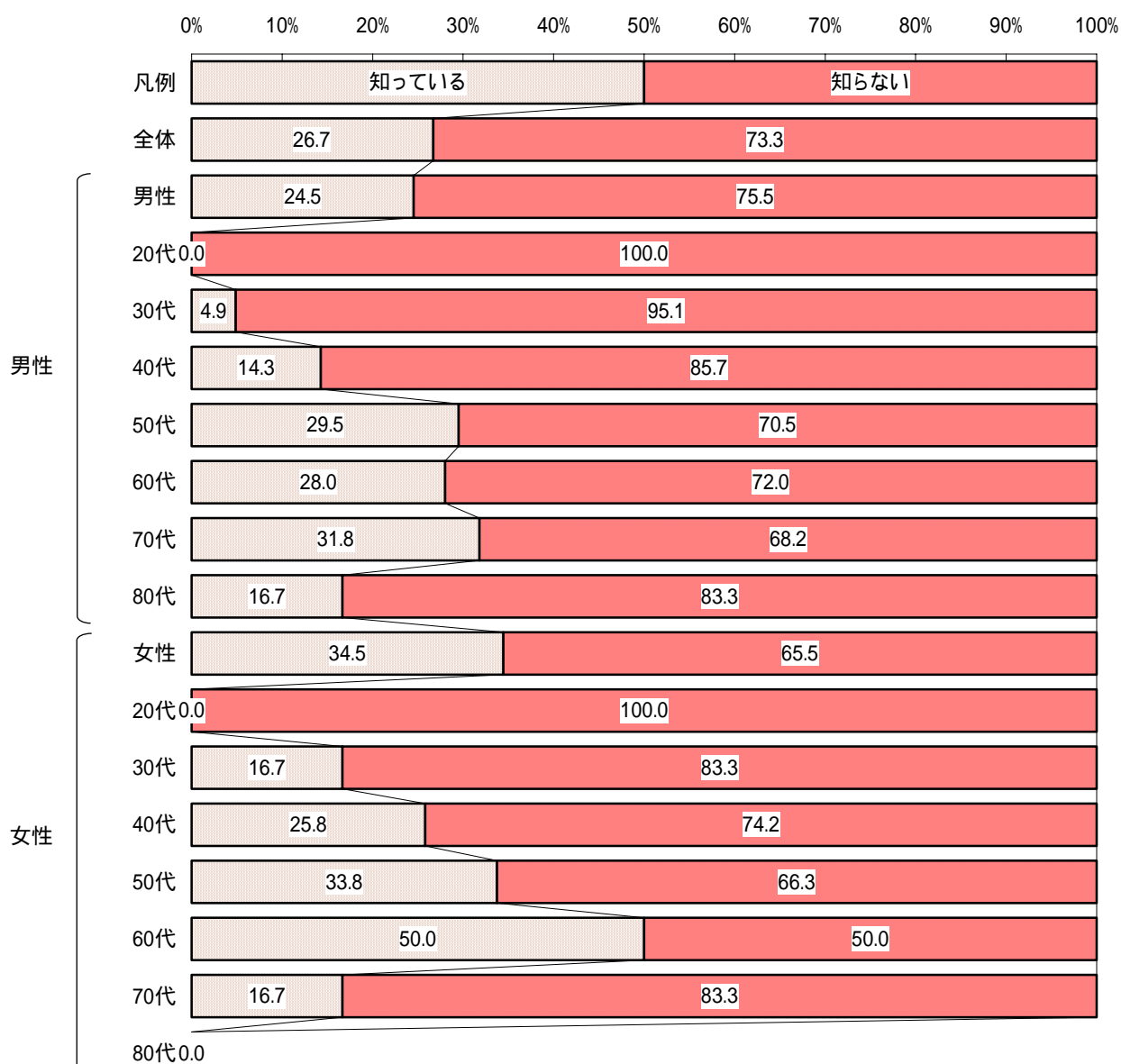
(3) 精神科以外の窓口

問9 精神科以外の相談窓口を知っていますか。(どちらかに 印)

相談窓口については、「知らない」が73.3%で多く占めている。男女共に20代は「知らない」が100%になっている。逆に年齢の高いほうが「知っている」比率が高くなっている。

図表 精神科相談窓口(SA)

選択肢	回答数(人)
知っている	231
知らない	619
未回答	37
(合計)	887



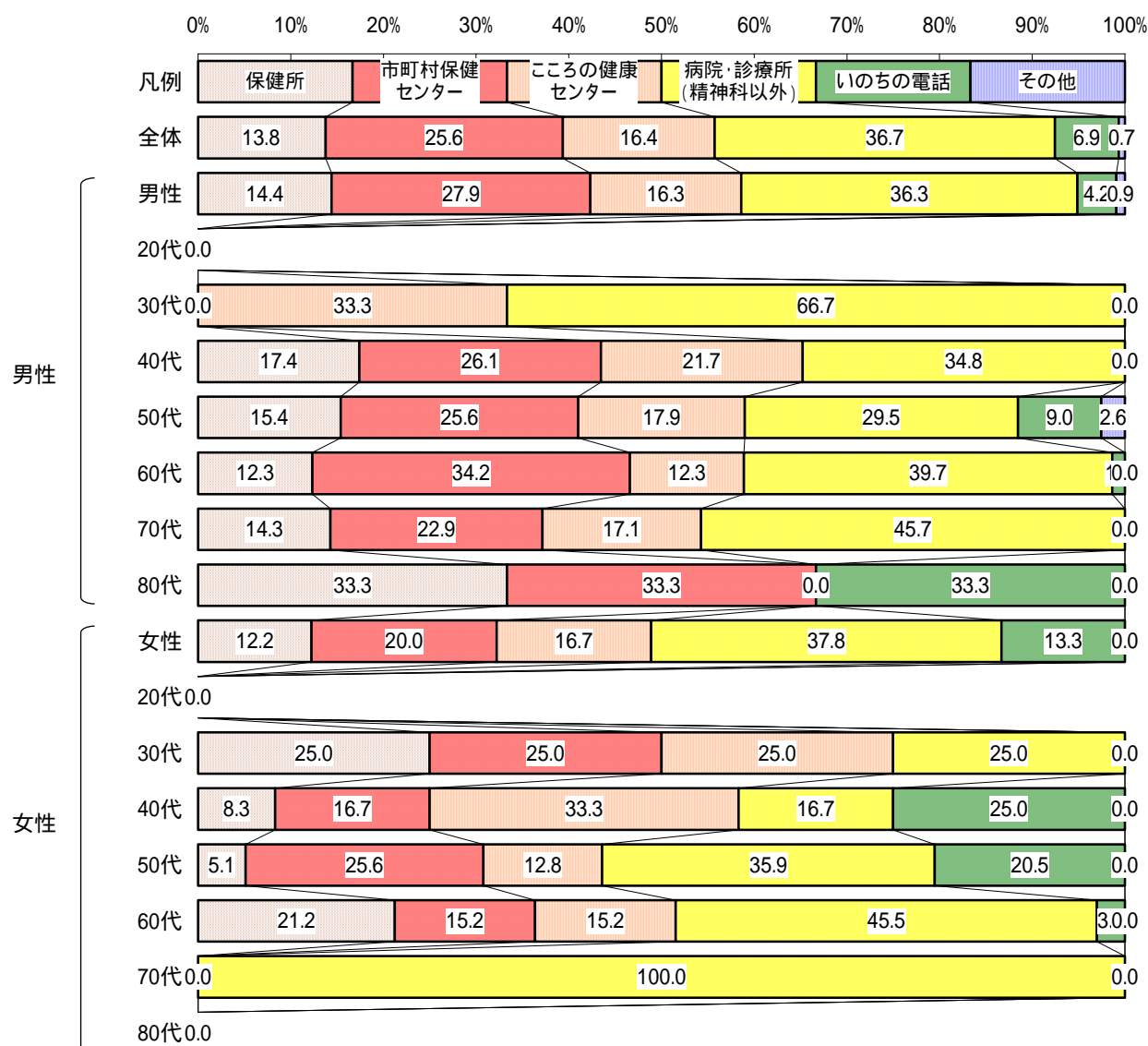
問9-1 問9で「1 知っている」と答えた方に質問します。(知っている窓口すべてに 印)

知っている窓口については、「病院・診療所(精神科以外)」が36.7%を占め最も多く、続いて「市町村保健センター」25.6%、「こころの健康センター」16.4%などの順となっている。

また、「いのちの電話」は6.9%で少ないが、80代の男性では1/3を占めている。

図表 知っている精神科相談窓口(MA)

選択肢	回答数(人)
保健所	46
市町村保健センター	82
こころの健康センター	53
病院・診療所(精神科以外)	120
いのちの電話	23
その他	3
(合計)	327



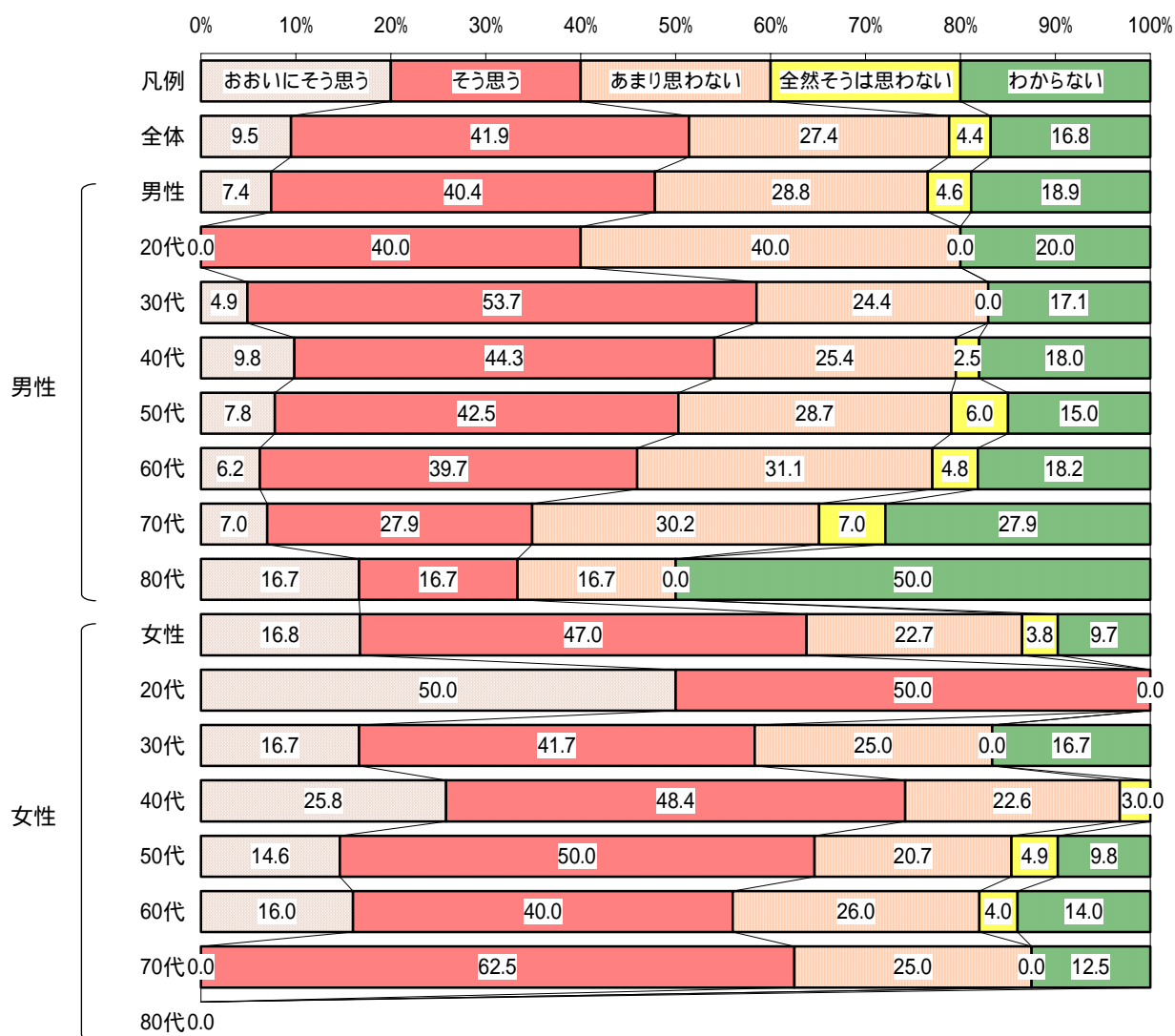
(4) ストレスとうつ病について

問 10 ストレスが続くとだれでもうつ病になる可能性があると思いますか。(どれか1つに 印)

ストレスとうつ病については、「そう思う」が最も多く、41.9%となっている。また、80代の男性は「わからない」が50.0%と半数を占めている。

図表 ストレスとうつ病について (SA)

選択肢	回答数(人)
おおいにそう思う	82
そう思う	360
あまり思わない	239
全然そうは思わない	38
わからない	144
未回答	24
(合計)	887



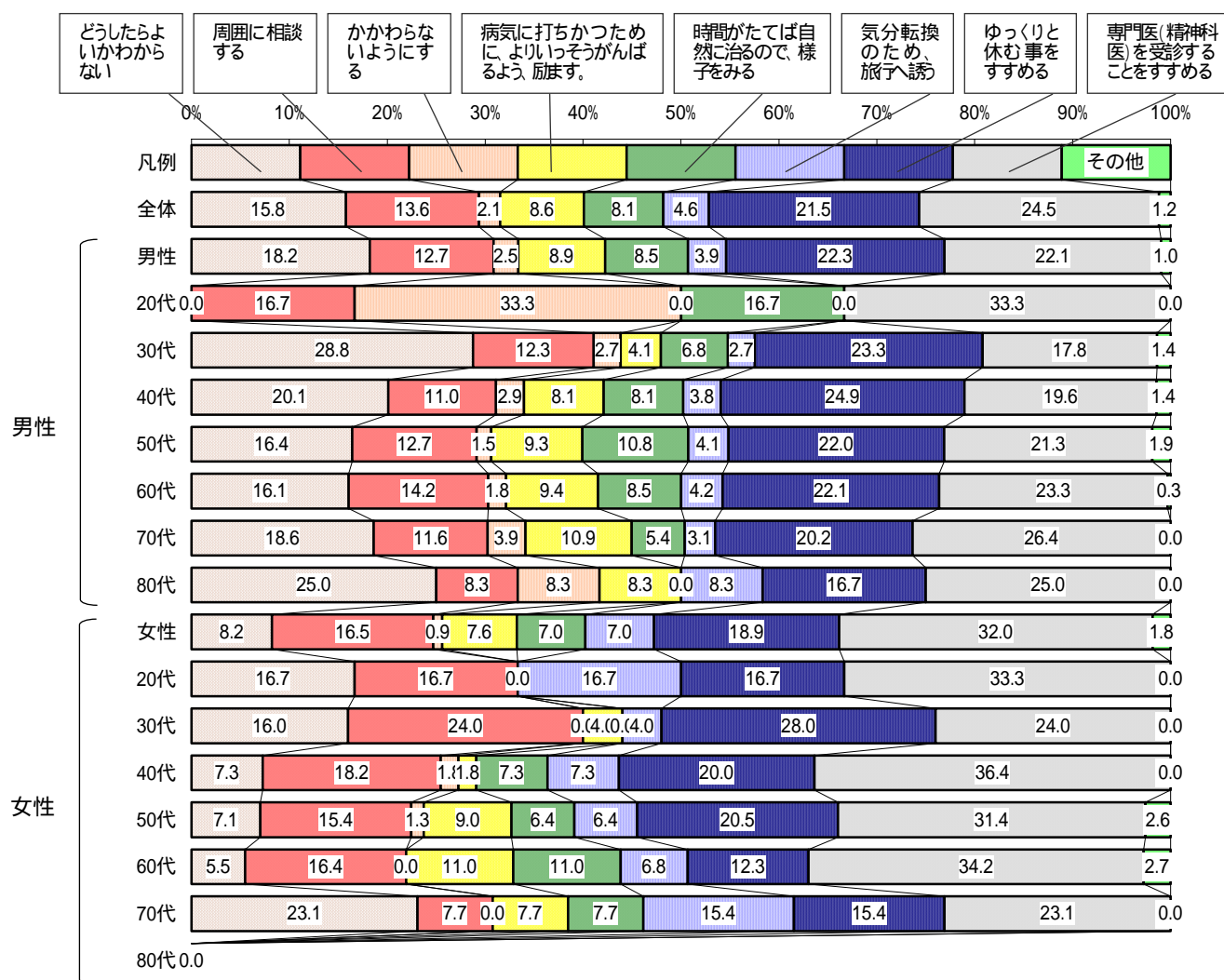
(5) うつ病患者への対応

問11 もしあなたのまわりに、うつ病の人がいたら、どうしますか。  
 あてはまるものすべてに をつけてください。 (いくつでも)

うつ病患者への接し方については、「専門医(精神科医)を受診することをすすめる」が24.5%を占め最も多く、「か  
 かわらないようにする」が2.1%と少なくなっている。

図表 うつ病患者への対応(MA)

選択肢	回答数(人)
どうしたらよいかわからない	221
周囲に相談する	193
かわらないようにする	30
病気に打ちかつために、よりいっそうがんばるよう、励ます。	124
時間がたてば自然に治るので、様子を見る	112
気分転換のため、旅行へ誘う	66
ゆっくりと休む事をすすめる	307
専門医(精神科医)を受診することをすすめる	348
その他	17
(合計)	1,418

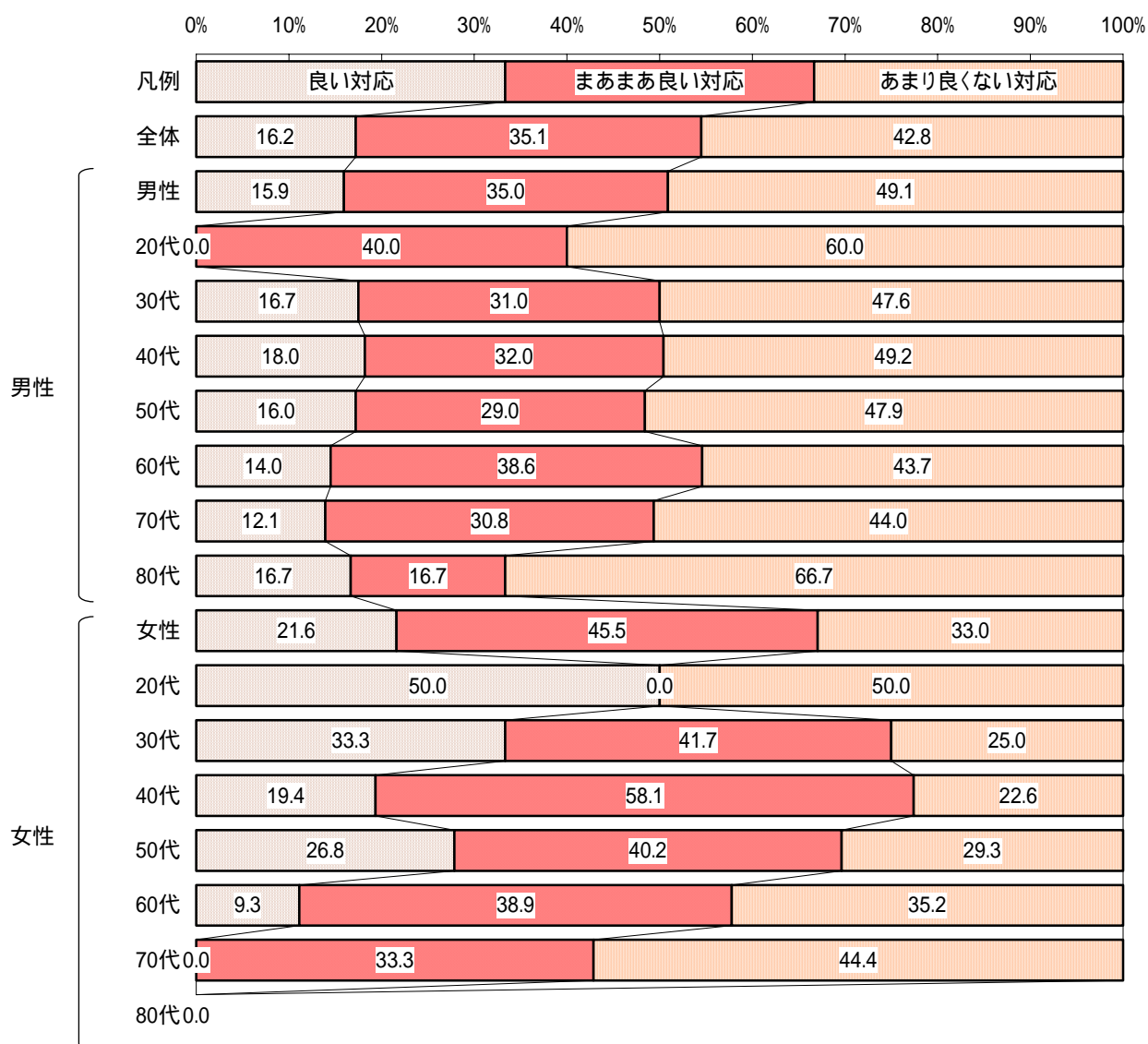


問11-1 もしあなたのまわりに、うつ病の人がいたら、どうしますかで答えた対応（3区分）

うつ病患者への対応の評価（3区分）については、「あまり良くない対応」が42.8%を占め最も多く、続いて「まあまあ良い対応」の35.1%、「良い対応」16.2%の順になっている。

図表 うつ病患者への対応（3区分）(SA)

選択肢	回答数(人)
良い対応	144
まあまあ良い対応	310
あまり良くない対応	373
回答なし	60
(合計)	887



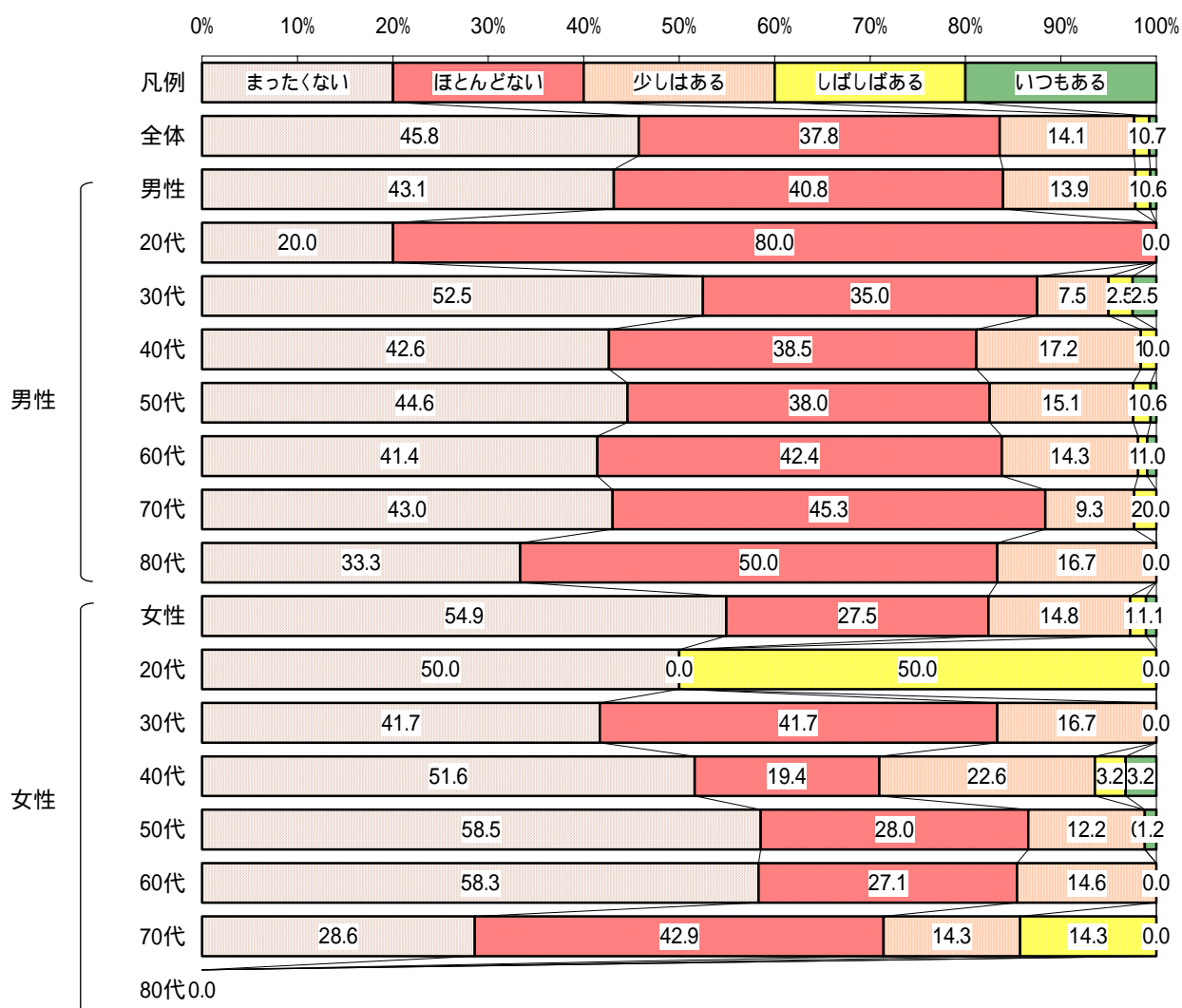
(6) 希死念慮

問 12 最近1年以内に気分がひどく落ち込んで、もう死んでもかまわないと思ったことはありますか。  
あてはまるものを選んでください。(どれか1つに 印)

希死念慮については、「まったくない」が45.8%を占め最も多く、続いて「ほとんどない」が37.8%、「少しはある」が14.1%などの順となっており、「少しはある」「しばしばある」「いつもある」を合わせると16.4%となっている。また、20代の男性は「ほとんどない」が80.0%と比率が高くなっている。

図表 希死念慮 (SA)

選択肢	回答数(人)
まったくない	392
ほとんどない	323
少しはある	121
しばしばある	14
いつもある	6
未回答	31
(合計)	887

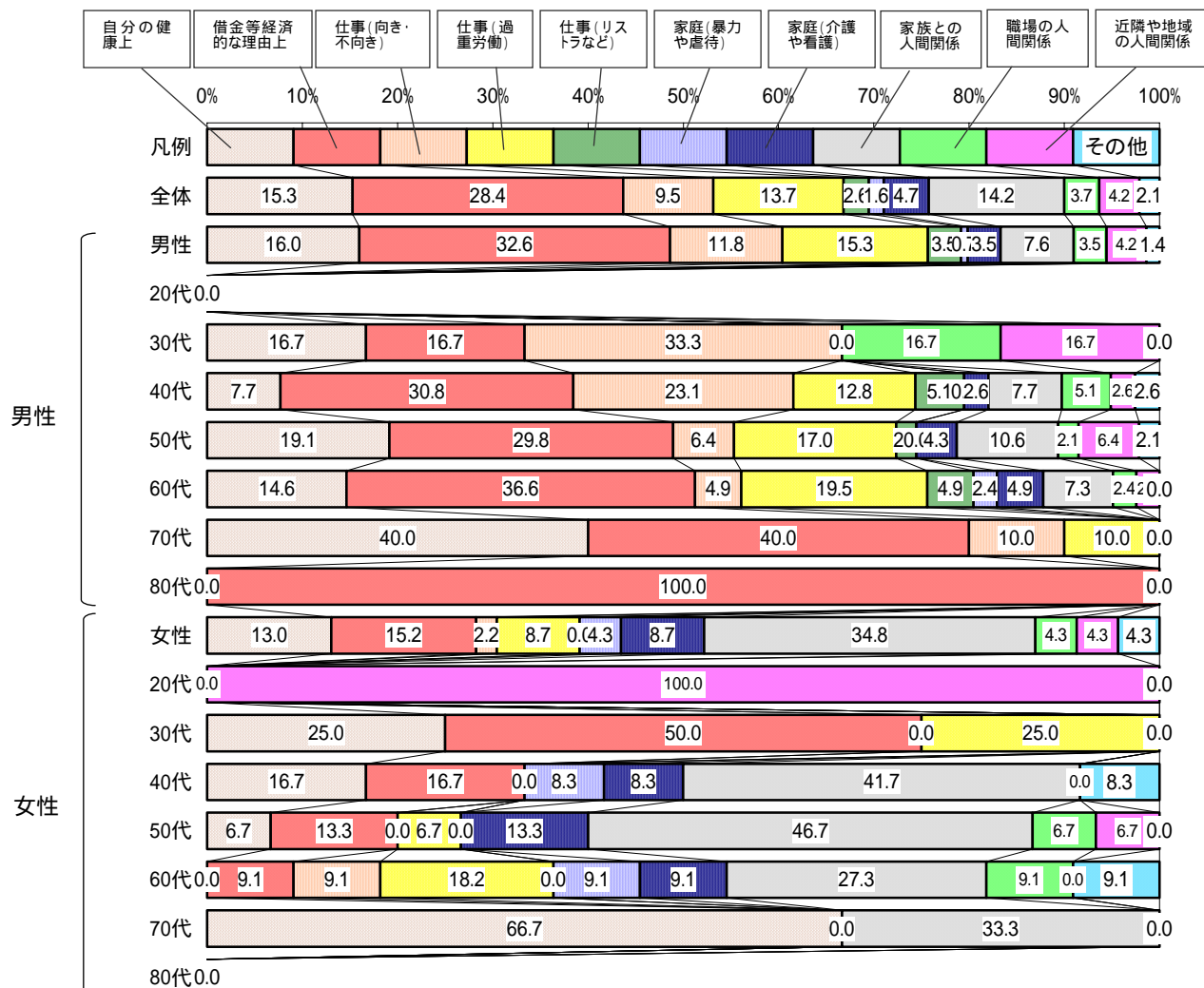


問12-1 問12で、3～5のいずれかを選んだ方にお尋ねします。気分がひどく落ち込んで、もう死んでもかまわないと思った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

死んでもかまわないと思った理由については、「借金等経済的な理由」が28.4%と最も多くを占め、「家庭(暴力や虐待)」は1.6%と最も少なくなっている。また、男性より女性のほうが「家族との人間関係」の比率が高くなっている。

図表 死んでもかまわないと思った理由(MA)

選択肢	回答数(人)
自分の健康上	31
借金等経済的な理由	57
仕事(向き・不向き)	19
仕事(過重労働)	28
仕事(リストラなど)	6
家庭(暴力や虐待)	3
家庭(介護や看護)	10
家族との人間関係	27
職場の人間関係	7
近隣や地域の人間関係	10
その他	5
(合計)	203



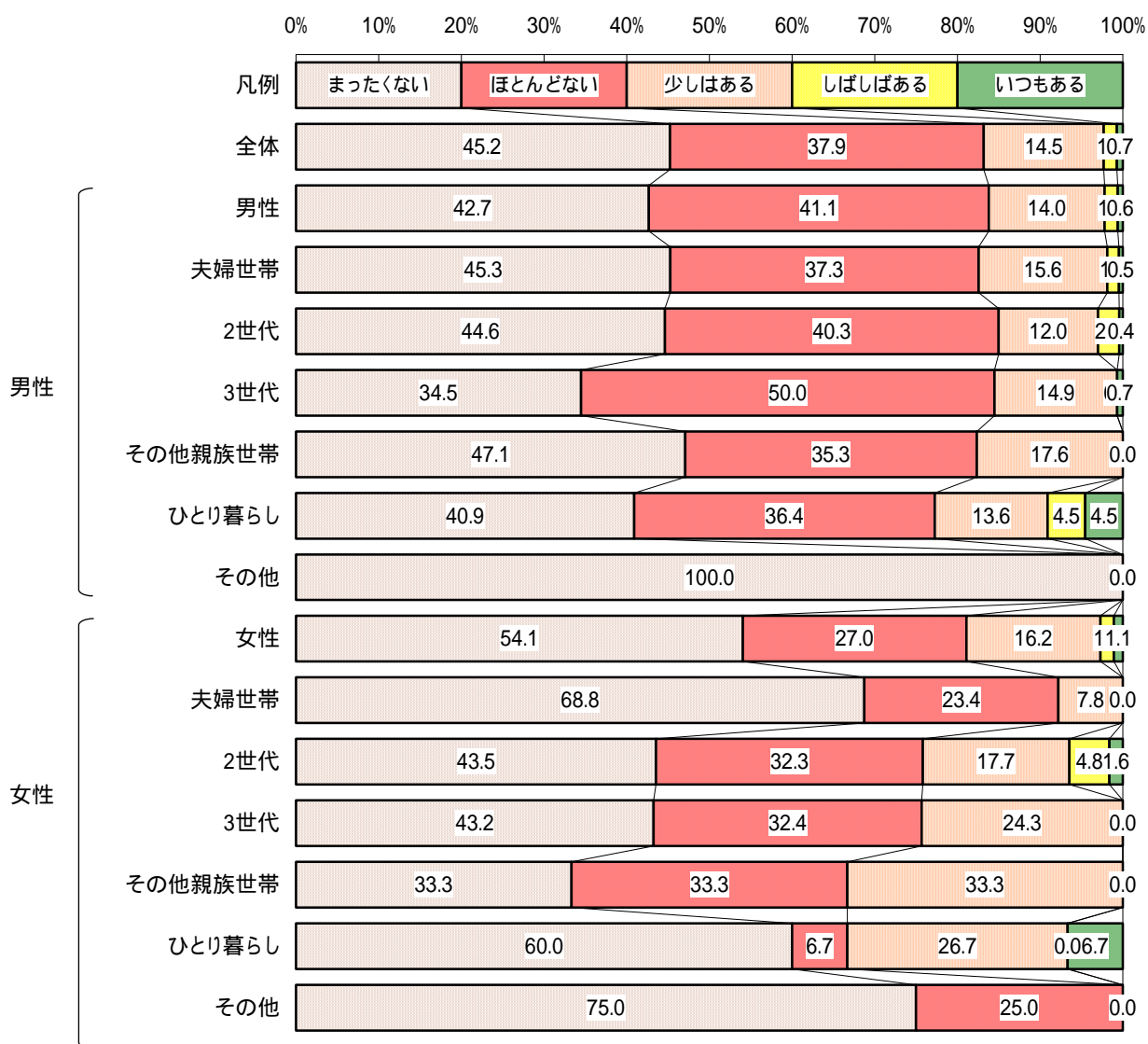
図表 死んでもかまわないと思った理由（MA）

項目		自分の健康上	借金等経済的な理由	仕事向き不向き	仕事（過重労働）	仕事（ストレスなど）	家庭（暴力や虐待）	家庭（介護や看護）	家族との人間関係	職場の人間関係	近隣や地域の人間関係	その他
全体		15.3	28.4	9.5	13.7	2.6	1.6	4.7	14.2	3.7	4.2	2.1
男性 計		16.0	32.6	11.8	15.3	3.5	0.7	3.5	7.6	3.5	4.2	1.4
男性	20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	40代	7.7	30.8	23.1	12.8	5.1	0.0	2.6	7.7	5.1	2.6	2.6
	50代	19.1	29.8	6.4	17.0	2.1	0.0	4.3	10.6	2.1	6.4	2.1
	60代	14.6	36.6	4.9	19.5	4.9	2.4	4.9	7.3	2.4	2.4	0.0
	70代	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80代	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 計		13.0	15.2	2.2	8.7	0.0	4.3	8.7	34.8	4.3	4.3	4.3
女性	20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30代	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3
	50代	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	46.7	6.7	6.7	0.0
	60代	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1
	70代	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	80代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

各カテゴリの上位2位の項目 単位：構成比%（未回答除く）

図表 性・家族構成と希死念慮

性別	家族構成	まったくない	ほとんどない	少しはある	しばしばある	いつもある	総計(人)
男性	夫婦世帯	96	79	33	3	1	212
	2世代	104	94	28	6	1	233
	3世代	51	74	22		1	148
	その他親族世帯	8	6	3			17
	ひとり暮らし	9	8	3	1	1	22
	その他	3					3
女性	夫婦世帯	44	15	5			64
	2世代	27	20	11	3	1	62
	3世代	16	12	9			37
	その他親族世帯	1	1	1			3
	ひとり暮らし	9	1	4		1	15
	その他	3	1				4
総計(人)		371	311	119	13	6	820



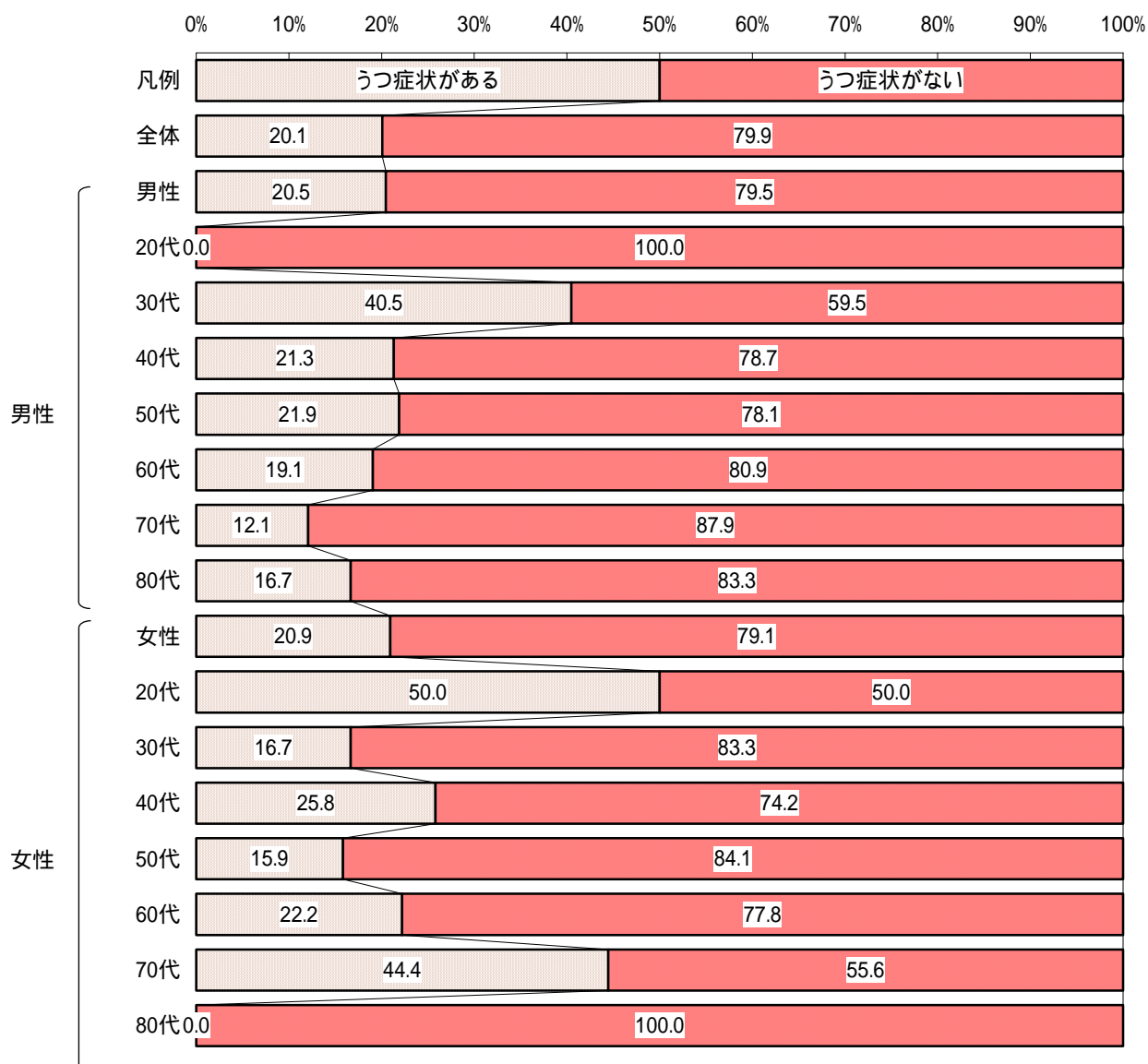
(7) うつ症状の有無

問 13-1 ここ 2 週間の間にうつ症状がありますか。(どれか 1 つに 印)

うつ症状の有無については、「うつ症状がない」が 79.9% で多くなっている。また、中でも 30 代男性と 20・70 代女性については「うつ症状がある」が約半数を占めている。

図表 うつ症状の有無 ( S A )

選択肢	回答数(人)
うつ症状がある	178
うつ症状がない	709
(合計)	887

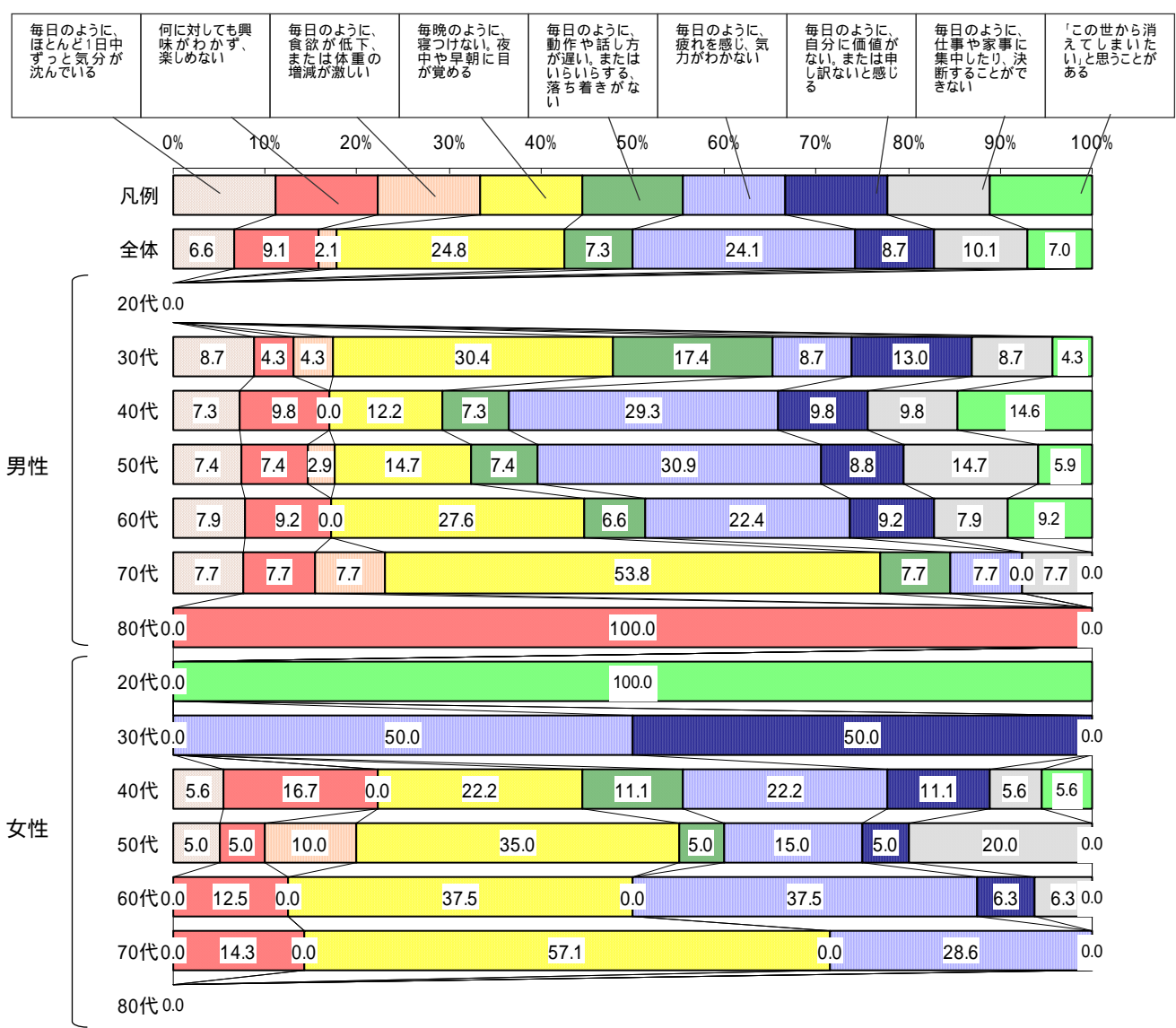


問 13-2 ここ 2 週間の間に下記の項目で当てはまるものがあればすべてに をつけてください。(いくつでも)

「毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める」と「毎日のように、疲れを感じ、気力がわかない」ほぼ同比率で多く占めており、また「毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める」は、男女共に 70 代が多くなっている。


図表 うつ症状の内容 (MA)

選択肢	回答数(人)
毎日のように、ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる	19
何に対しても興味がわかず、楽しめない	27
毎日のように、食欲が低下、または体重の増減が激しい	6
毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める	73
毎日のように、動作や話し方が遅い。またはいらいらする、落ち着きがない	23
毎日のように、疲れを感じ、気力がわかない	71
毎日のように、自分に価値がない。または申し訳ないと感じる	25
毎日のように、仕事や家事に集中したり、決断することができない	29
「この世から消えてしまいたい」と思うことがある	20
(合計)	293



図表 うつ症状の内容（MA）

項目		毎日のように、ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる	何に対しても興味がわかず、楽しめない	毎日のように、食欲が低下、または体重の増減が激しい	毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める	毎日のように、動作や話し方が遅いまたはいらいらする、落ち着きがない	毎日のように、疲れを感じ、気がわかない	毎日のように、自分に価値がない。または申し訳ないと感じる	毎日のように、仕事や家事に集中したり、決断することができない	この世から消えてしまいたいと思うことがある
全体		6.6	9.1	2.1	24.8	7.3	24.1	8.7	10.1	7.0
男性 計		7.7	8.6	1.8	22.5	8.1	23.9	9.0	10.4	8.1
男性	20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	8.7	4.3	4.3	30.4	17.4	8.7	13.0	8.7	4.3
	40代	7.3	9.8	0.0	12.2	7.3	29.3	9.8	9.8	14.6
	50代	7.4	7.4	2.9	14.7	7.4	30.9	8.8	14.7	5.9
	60代	7.9	9.2	0.0	27.6	6.6	22.4	9.2	7.9	9.2
	70代	7.7	7.7	7.7	53.8	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0
	80代	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 計		3.1	10.9	3.1	32.8	4.7	25.0	7.8	9.4	3.1
女性	20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	40代	5.6	16.7	0.0	22.2	11.1	22.2	11.1	5.6	5.6
	50代	5.0	5.0	10.0	35.0	5.0	15.0	5.0	20.0	0.0
	60代	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	37.5	6.3	6.3	0.0
	70代	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
	80代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

 各カテゴリの上位2位の項目 単位：構成比%（未回答除く）

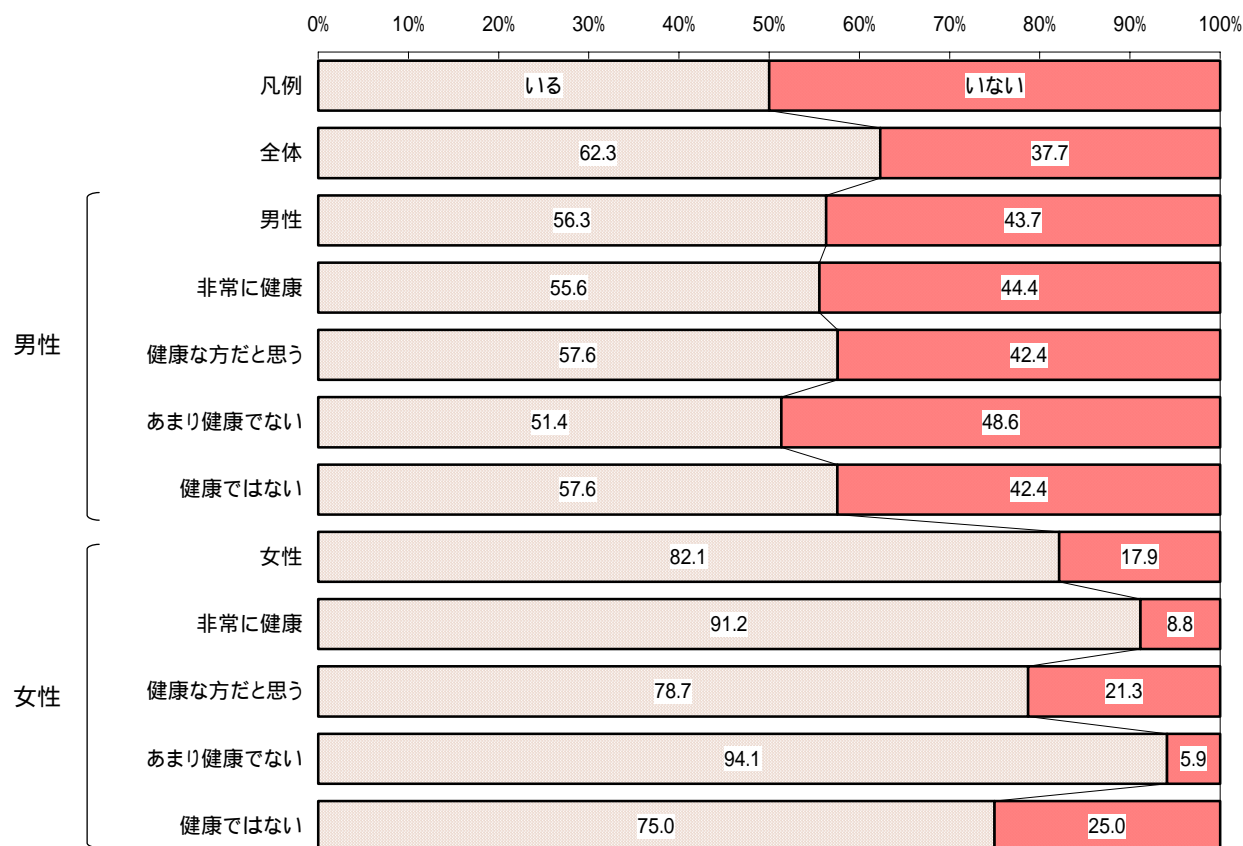
# 調査の結果 「健康感・健康への配慮とこころの健康づくり」について

## (1) 性・健康感と相談相手の有無

男性は相談相手の「いる」「いない」両方共に健康感の比率がほぼ同じである。女性は相談相手の「いる」が多く、その中で、「あまり健康でない」が94.1%で最も多くなっている。

図表 性・健康感と相談相手の有無（SA）

性別	健康感	いる	いない	総計(人)
男性	非常に健康	35	28	63
	健康な方だと思う	254	187	441
	あまり健康でない	57	54	111
	健康ではない	19	14	33
女性	非常に健康	31	3	34
	健康な方だと思う	111	30	141
	あまり健康でない	16	1	17
	健康ではない	3	1	4
総計(人)		526	318	844

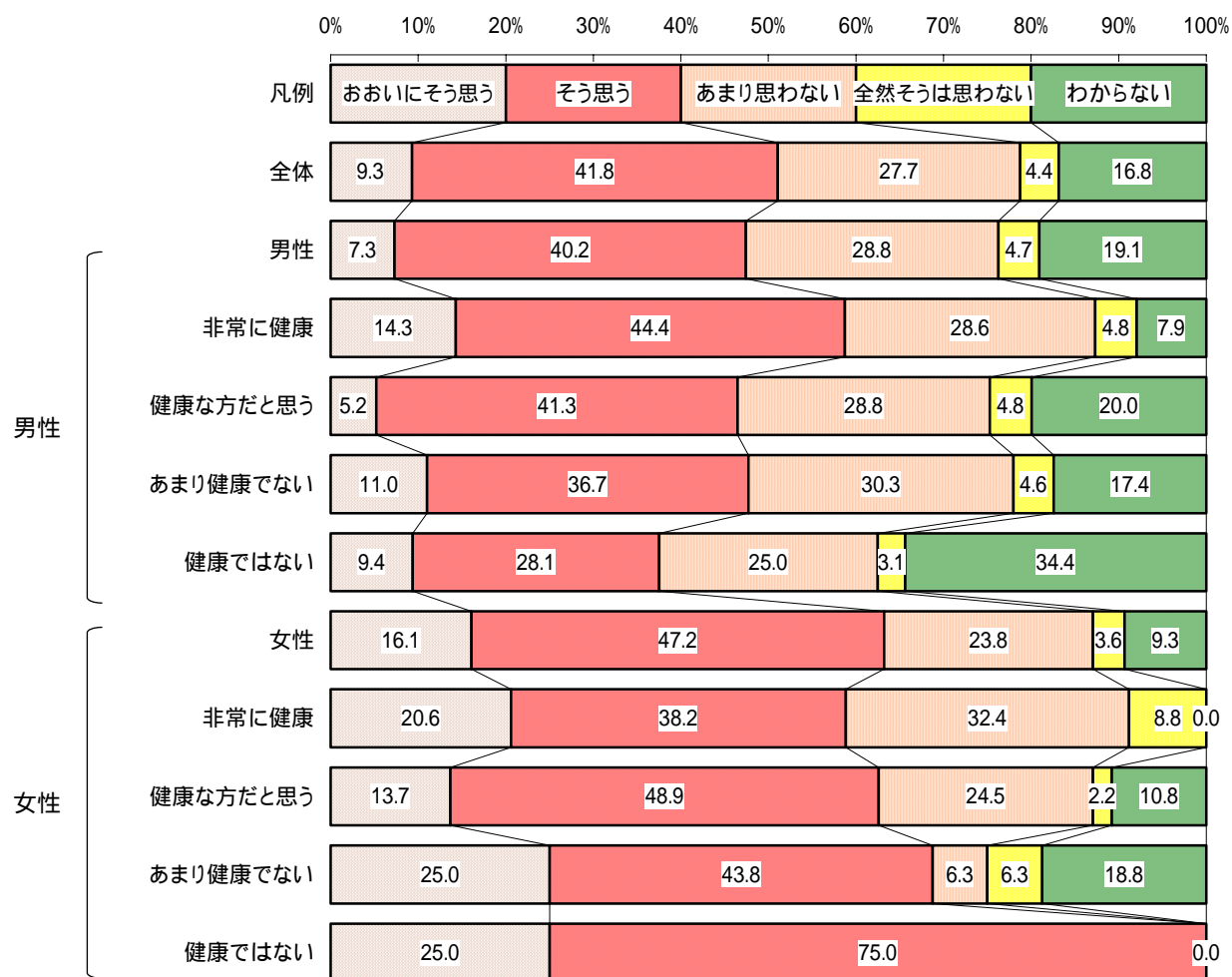


(2) 性・健康感とストレスとうつとの関係

男性はストレスとうつとの関係で「そう思う」が多く、その中で健康感は「非常に健康」が44.4%と最も多くなっている。一方女性は、「健康ではない」が75.0%を占めて最も多い。

図表 性・健康感とストレスとうつとの関係 ( S A )

性別	健康感	おおいにそう思う	そう思う	あまり思わない	全然そうは思わない	わからない	総計(人)
男性	非常に健康	9	28	18	3	5	63
	健康な方だと思う	23	182	127	21	88	441
	あまり健康でない	12	40	33	5	19	109
	健康ではない	3	9	8	1	11	32
女性	非常に健康	7	13	11	3		34
	健康な方だと思う	19	68	34	3	15	139
	あまり健康でない	4	7	1	1	3	16
	健康ではない	1	3				4
総計(人)		78	350	232	37	141	838

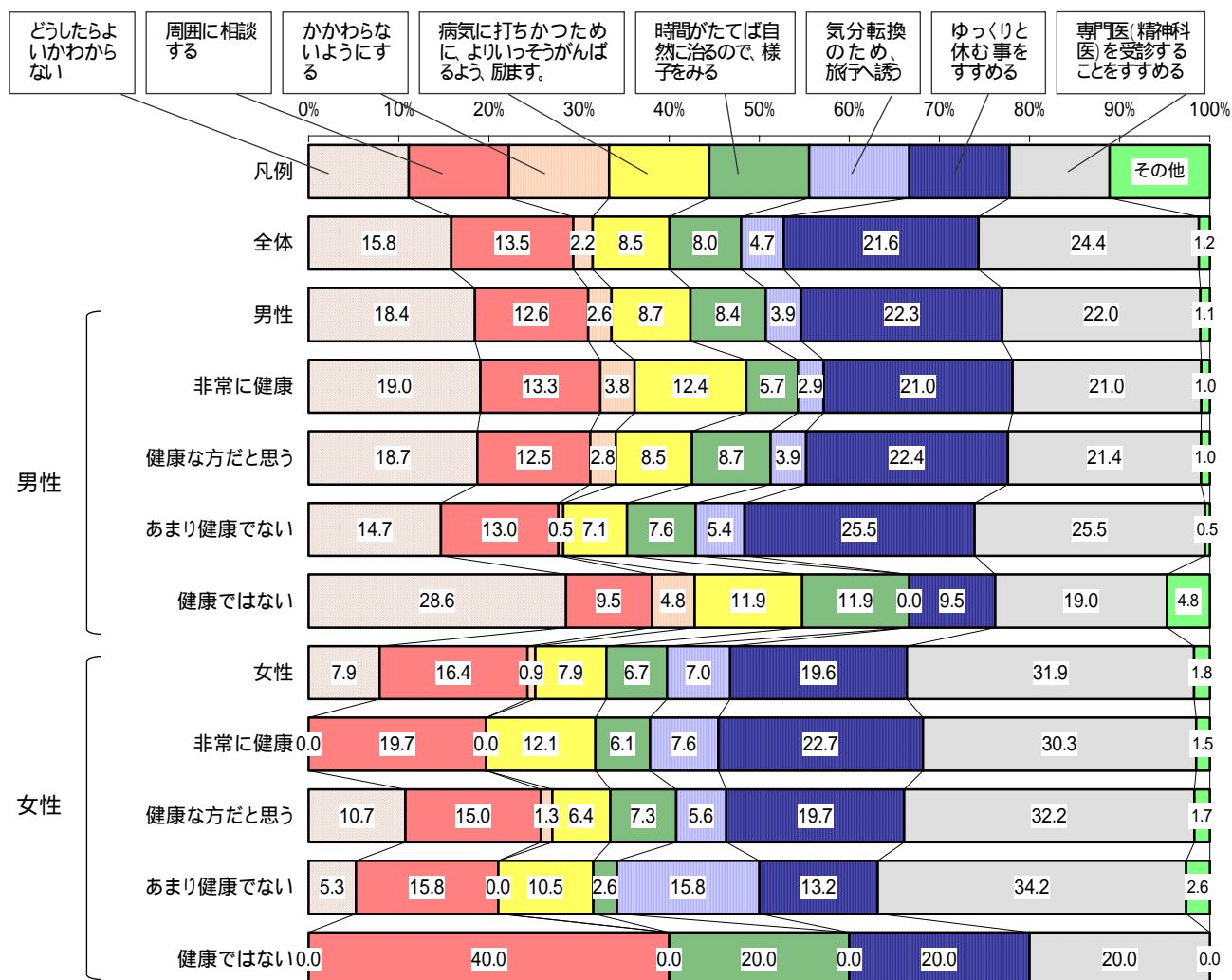


(3) 性・健康感とうつ病患者への対応

男女共にうつ病患者への対応は「専門医（精神科医）を受診することをすすめる」が多く占めている。

図表 性・健康感とうつ病患者への対応（MA）

性別	健康感	どうしたらよいかかわからない	周囲に相談する	かかわらないようにする	病気に打ちかつために、よりいっそうがんばるよう、励ます。	時間がたてば自然に治るので、様子を見る	気分転換のため、旅行へ誘う	ゆっくりと休む事をすすめる	専門医（精神科医）を受診することをすすめる	その他	総計（人）
男性	非常に健康	20	14	4	13	6	3	22	22	1	105
	健康な方だと思う	133	89	20	60	62	28	159	152	7	710
	あまり健康でない	27	24	1	13	14	10	47	47	1	184
	健康ではない	12	4	2	5	5		4	8	2	42
女性	非常に健康		13		8	4	5	15	20	1	66
	健康な方だと思う	25	35	3	15	17	13	46	75	4	233
	あまり健康でない	2	6		4	1	6	5	13	1	38
	健康ではない		2			1		1	1		5
総計（人）		219	187	30	118	110	65	299	338	17	1383

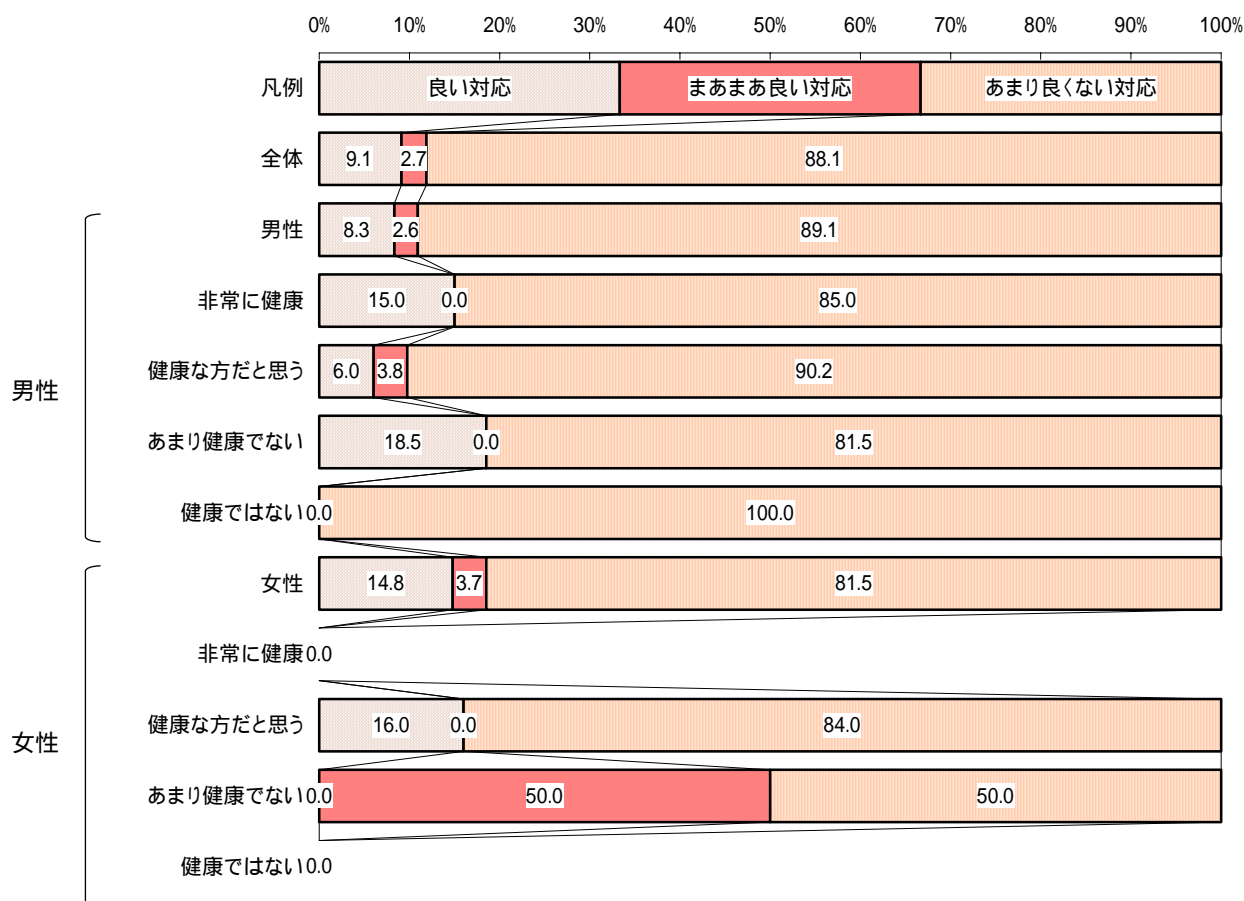


(4) 性・健康感とうつ病患者への対応（3区分）

男女共とうつ病患者への対応で「あまり良くない対応」が88.1%を占めて最も多い。男性では「健康ではない」と感じている人ほど、うつ病患者への対応が、あまりよくない傾向がみられる。

図表 性・健康感とうつ病患者への対応（3区分）

性別	健康感	良い対応	まあまあ良い対応	あまり良くない対応	総計(人)
男性	非常に健康	3		17	20
	健康な方だと思う	8	5	120	133
	あまり健康でない	5		22	27
	健康ではない			12	12
女性	非常に健康				0
	健康な方だと思う	4		21	25
	あまり健康でない		1	1	2
	健康ではない				0
総計(人)		20	6	193	219

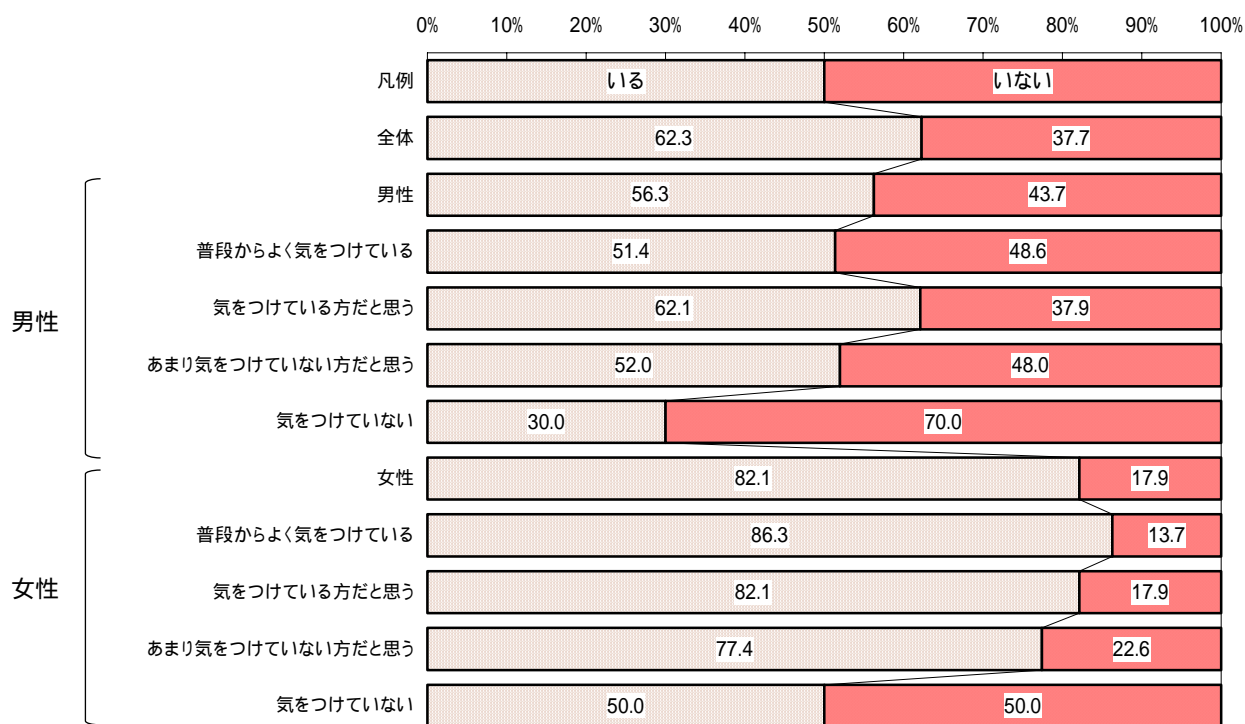


(5) 性・健康への配慮と相談相手の有無

男女共に相談者の有無は「いる」が多く占めている。男性女性とも健康への配慮が高いほど、相談相手がいる割合が多くなっている。

図表 性・健康への配慮と相談相手の有無

性別	健康への配慮	いる	いない	総計(人)
男性	普段からよく気をつけている	37	35	72
	気をつけている方だと思う	213	130	343
	あまり気をつけていない方だと思う	105	97	202
	気をつけていない	9	21	30
女性	普段からよく気をつけている	44	7	51
	気をつけている方だと思う	92	20	112
	あまり気をつけていない方だと思う	24	7	31
	気をつけていない	1	1	2
総計(人)		525	318	843

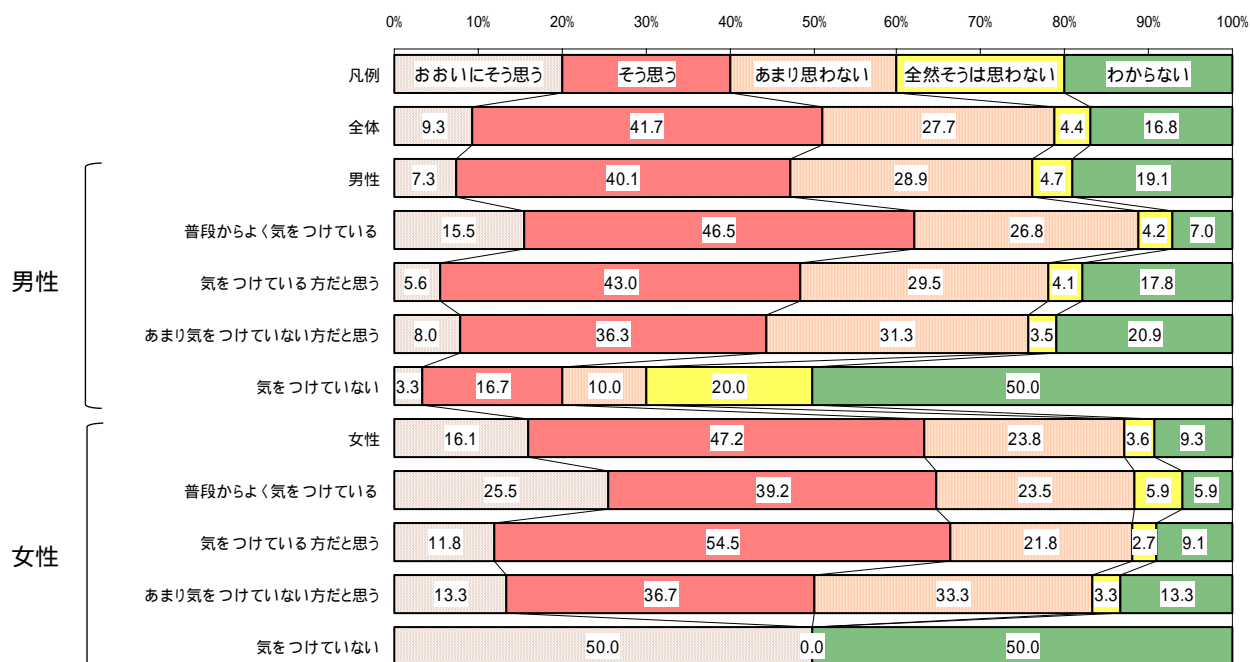


(6) 性・健康への配慮とストレスとうつとの関係

男女共に健康への配慮は「そう思う」が多く占めている。「普段からよく気をつけている」人ほどストレスとうつとの関係を理解している人が多い傾向がみられる。

図表 性・健康への配慮とストレスとうつとの関係

性別	健康への配慮	おおいにそう思う	そう思う	あまり思わない	全然そうは思わない	わからない	総計(人)
男性	普段からよく気をつけている	11	33	19	3	5	71
	気をつけている方だと思う	19	147	101	14	61	342
	あまり気をつけていない方だと思う	16	73	63	7	42	201
	気をつけていない	1	5	3	6	15	30
女性	普段からよく気をつけている	13	20	12	3	3	51
	気をつけている方だと思う	13	60	24	3	10	110
	あまり気をつけていない方だと思う	4	11	10	1	4	30
	気をつけていない	1				1	2
総計(人)		78	349	232	37	141	837

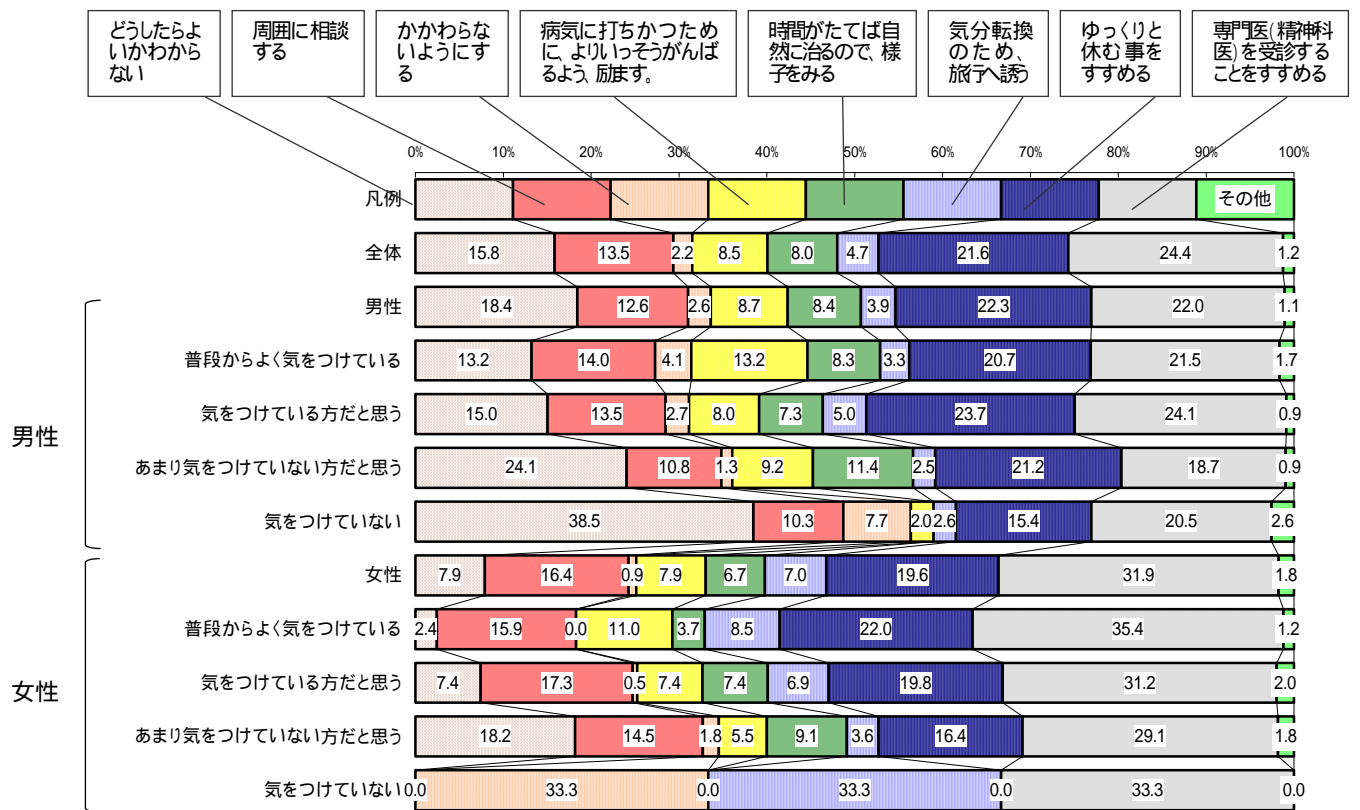


(7) 性・健康への配慮とうつ病患者への対応

男女共にうつ病患者への対応は「専門医（精神科医）を受診することをすすめる」が多く占めている。

図表 性・健康への配慮とうつ病患者への対応

性別	健康への配慮	どうしたらよいかわからない	周囲に相談する	かかわらないようにする	病気に打ちかつために、よりいっそうがんばるよう、励ます。	時間がたてば自然に治るので、様子を見る	気分転換のため、旅行へ誘う	ゆっくりと休む事をすすめる	専門医（精神科医）を受診することをすすめる	その他	総計（人）
男性	普段からよく気をつけている	16	17	5	16	10	4	25	26	2	121
	気をつけている方だと思う	85	76	15	45	41	28	134	136	5	565
	あまり気をつけていない方だと思う	76	34	4	29	36	8	67	59	3	316
	気をつけていない	15	4	3	1		1	6	8	1	39
女性	普段からよく気をつけている	2	13		9	3	7	18	29	1	82
	気をつけている方だと思う	15	35	1	15	15	14	40	63	4	202
	あまり気をつけていない方だと思う	10	8	1	3	5	2	9	16	1	55
	気をつけていない			1			1		1		3
総計（人）		219	187	30	118	110	65	299	338	17	1383

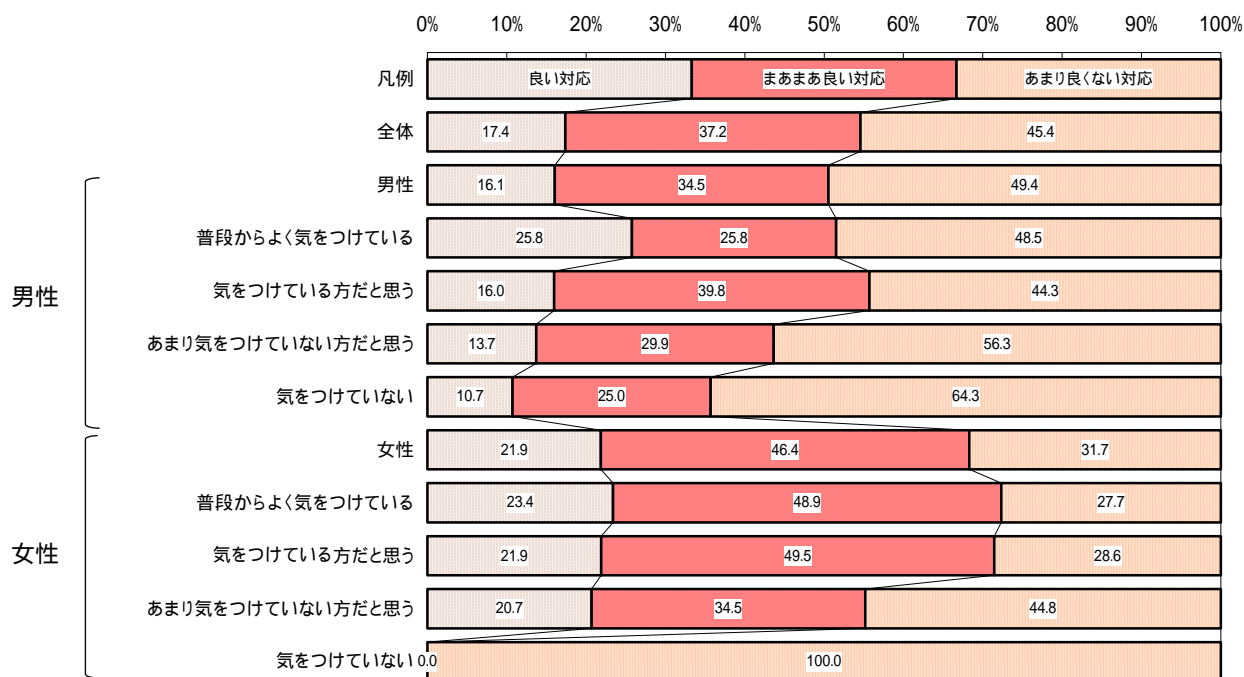


(8) 性・健康への配慮とうつ病患者への対応(3区分)

男性女性とも、健康への配慮が高いほど、うつ病患者に対し、よい対応をしている傾向がある。

図表 性・健康への配慮とうつ病患者への対応(3区分)

性別	健康への配慮	良い対応	まあまあ良い対応	あまり良くない対応	総計(人)
男性	普段からよく気をつけている	17	17	32	66
	気をつけている方だと思う	53	132	147	332
	あまり気をつけていない方だと思う	27	59	111	197
	気をつけていない	3	7	18	28
女性	普段からよく気をつけている	11	23	13	47
	気をつけている方だと思う	23	52	30	105
	あまり気をつけていない方だと思う	6	10	13	29
	気をつけていない			2	2
総計(人)		140	300	366	806



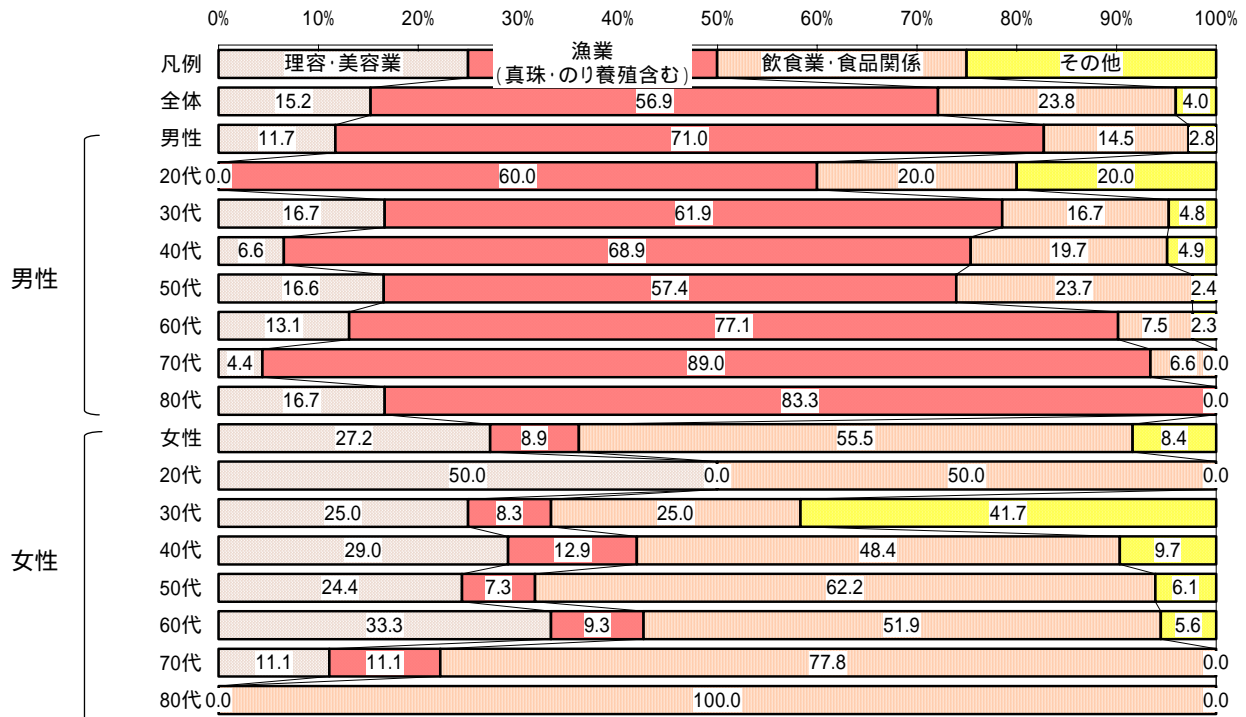
## 調査の結果 「職業と各項目について」

### (1) 職業と性別・年齢

男性では全ての年齢において職業が、「漁業（真珠・のり養殖含む）」が最も多く半数以上を占めている。一方女性では全ての年齢において職業がその他を除き「飲食業・食品関係」が最も多なっている。

図表 職業と性別・年齢

性別	年齢	理容・美容業	漁業 (真珠・のり養殖含む)	飲食業・食品関係	その他	総計 (人)
男性	20代		3	1	1	5
	30代	7	26	7	2	42
	40代	8	84	24	6	122
	50代	28	97	40	4	169
	60代	28	165	16	5	214
	70代	4	81	6		91
	80代	1	5			6
女性	20代	1		1		2
	30代	3	1	3	5	12
	40代	9	4	15	3	31
	50代	20	6	51	5	82
	60代	18	5	28	3	54
	70代	1	1	7		9
	80代			1		1
総計(人)		128	478	200	34	840

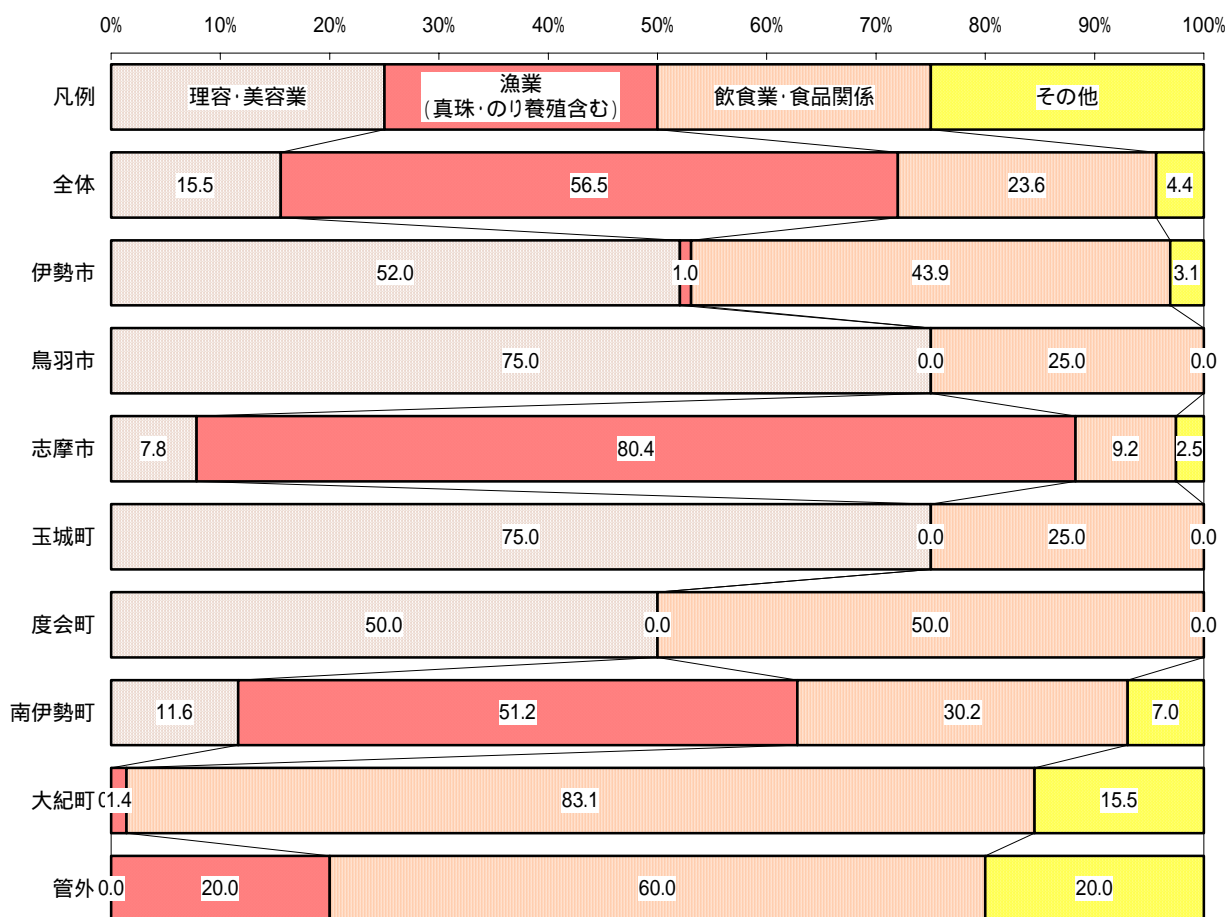


(2) 職業と市町村名

「漁業（真珠・のり養殖含む）」の職業は、志摩市が 80.4%と大半を占め、続いて南伊勢町の 51.2%となっている。  
 また、「理容・美容業」では伊勢市が 52.0%、鳥羽市が 75.0%を占めている。

図表 職業と市町村名

市町村	理容・美容業	漁業 (真珠・のり養殖含む)	飲食業・食品関係	その他	総計 (人)
伊勢市	51	1	43	3	98
鳥羽市	15		5		20
志摩市	40	411	47	13	511
玉城町	9		3		12
度会町	2		2		4
南伊勢町	15	66	39	9	129
大紀町		1	59	11	71
管外		1	3	1	5
総計(人)	132	480	201	37	850

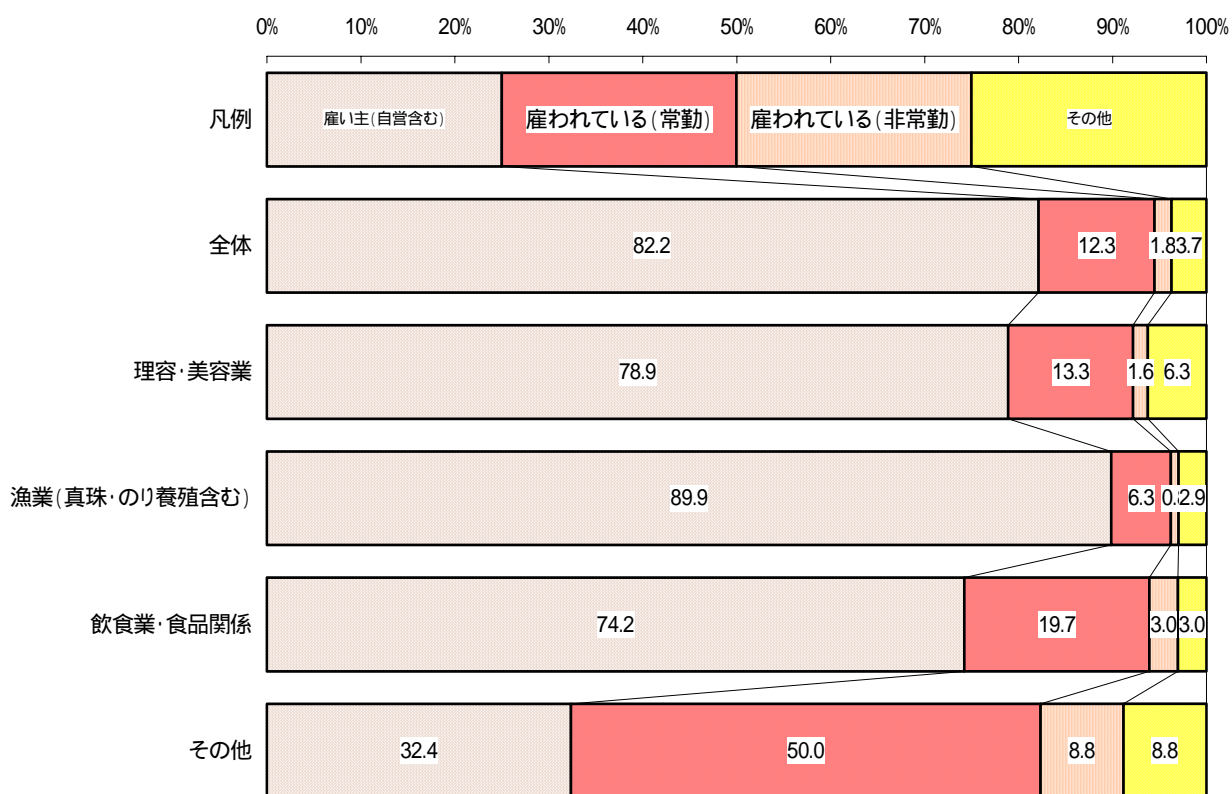


(3) 職業と就業形態

その他を除く就業形態については、雇い主(自営含む)が多く、その中で職業が「漁業(真珠・のり養殖含む)」が89.9%を占め最も多く、続いて「理容・美容業」の78.9%、などの順になっている。

図表 職業と就業形態

職業	雇い主(自営含む)	雇われている(常勤)	雇われている(非常勤)	その他	総計(人)
理容・美容業	101	17	2	8	128
漁業(真珠・のり養殖含む)	427	30	4	14	475
飲食業・食品関係	147	39	6	6	198
その他	11	17	3	3	34
総計(人)	686	103	15	31	835

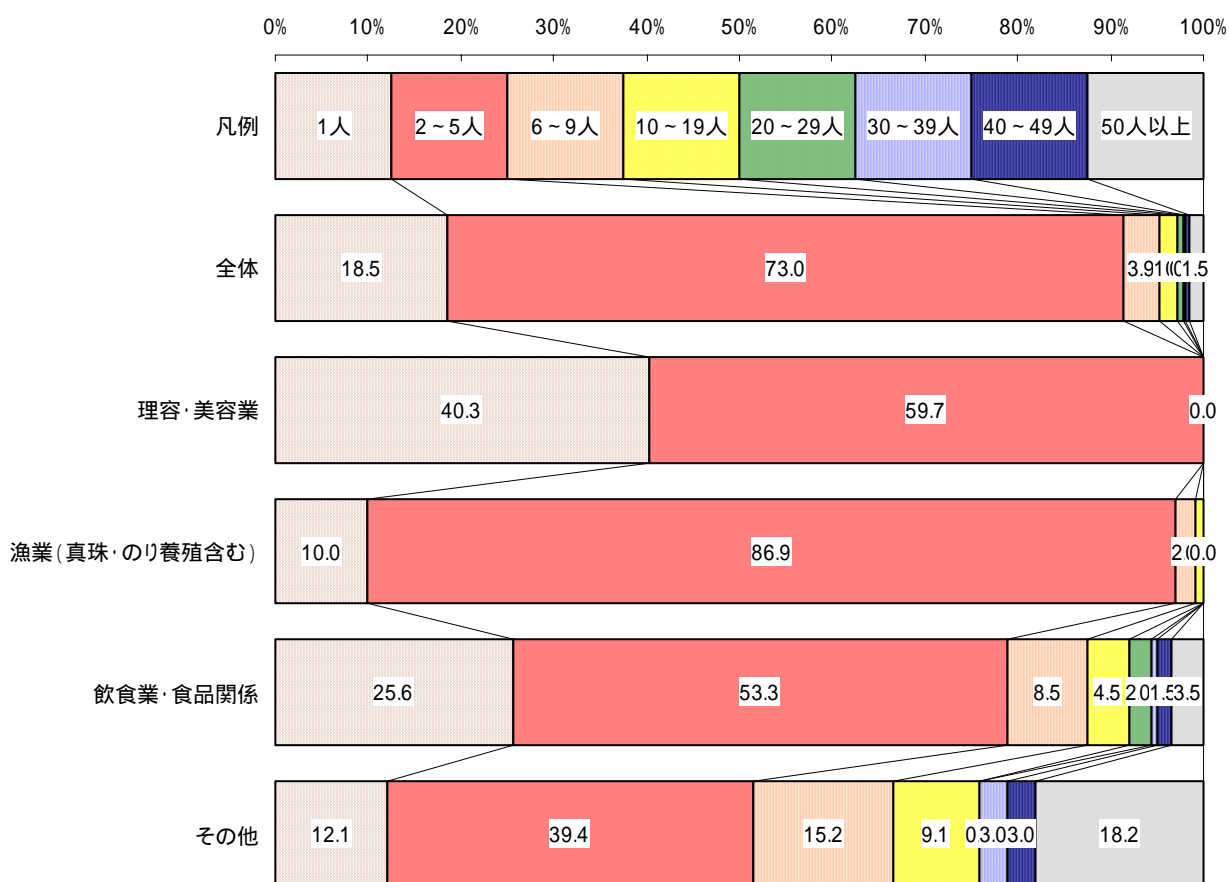


(4) 職業と従業員数

従業員数の比率は2～5人が全体の73.0%を占めており、その中で職業が「漁業(真珠・のり養殖含む)」が86.9%を占め最も多く、続いて「理容・美容業」の59.7%などの順になっている。

図表 職業と従業員数

職業	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	総計(人)
理容・美容業	54	80							134
漁業(真珠・のり養殖含む)	49	425	11	4					489
飲食業・食品関係	51	106	17	9	5	1	3	7	199
その他	4	13	5	3		1	1	6	33
総計(人)	158	624	33	16	5	2	4	13	855

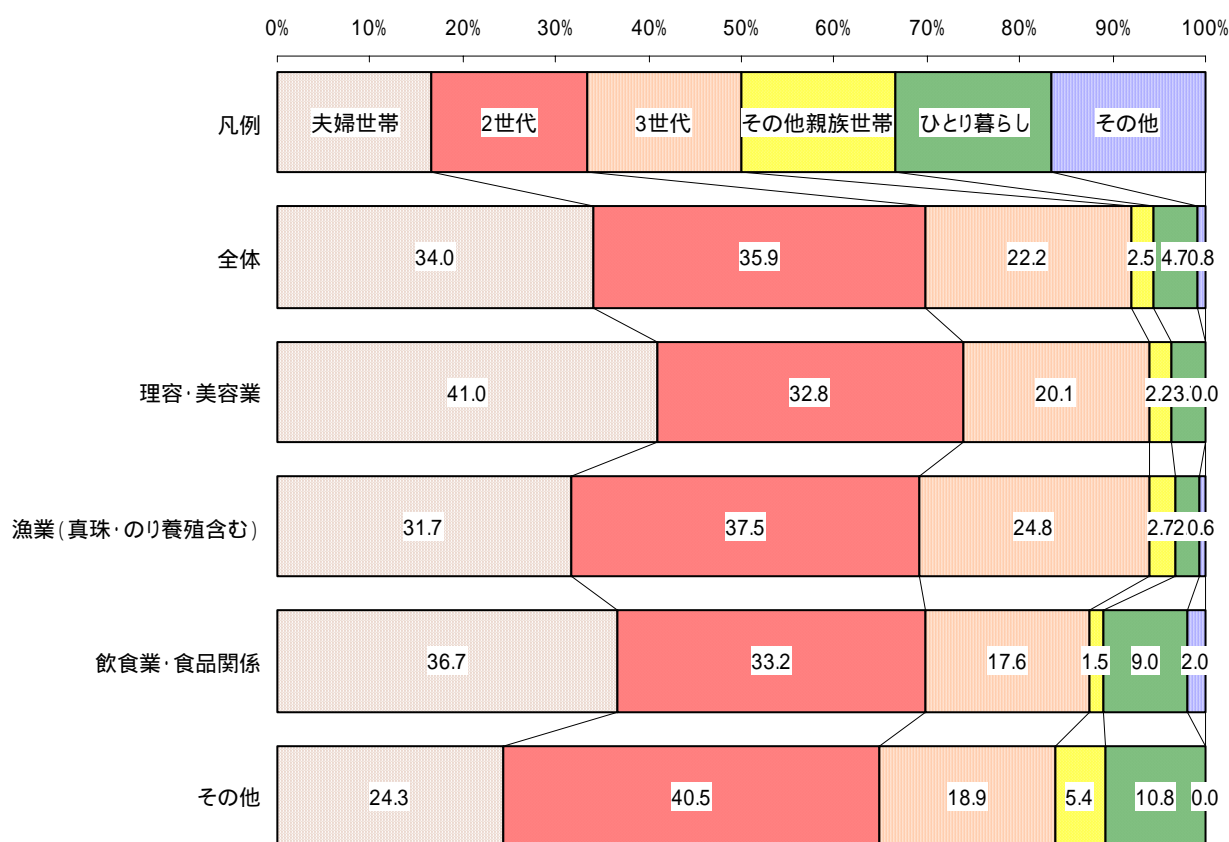


(5) 職業と家族構成

その他を除く職業において、家族構成が「夫婦世帯」と「2世代」が平均してほぼ同比率で多くなっている。続いて、「3世代」が20%前後で、「その他親戚世帯」が少ない。

図表 職業と家族構成

職業	夫婦世帯	2世代	3世代	その他親戚世帯	ひとり暮らし	その他	総計(人)
理容・美容業	55	44	27	3	5		134
漁業(真珠・のり養殖含む)	153	181	120	13	13	3	483
飲食業・食品関係	73	66	35	3	18	4	199
その他	9	15	7	2	4		37
総計(人)	290	306	189	21	40	7	853

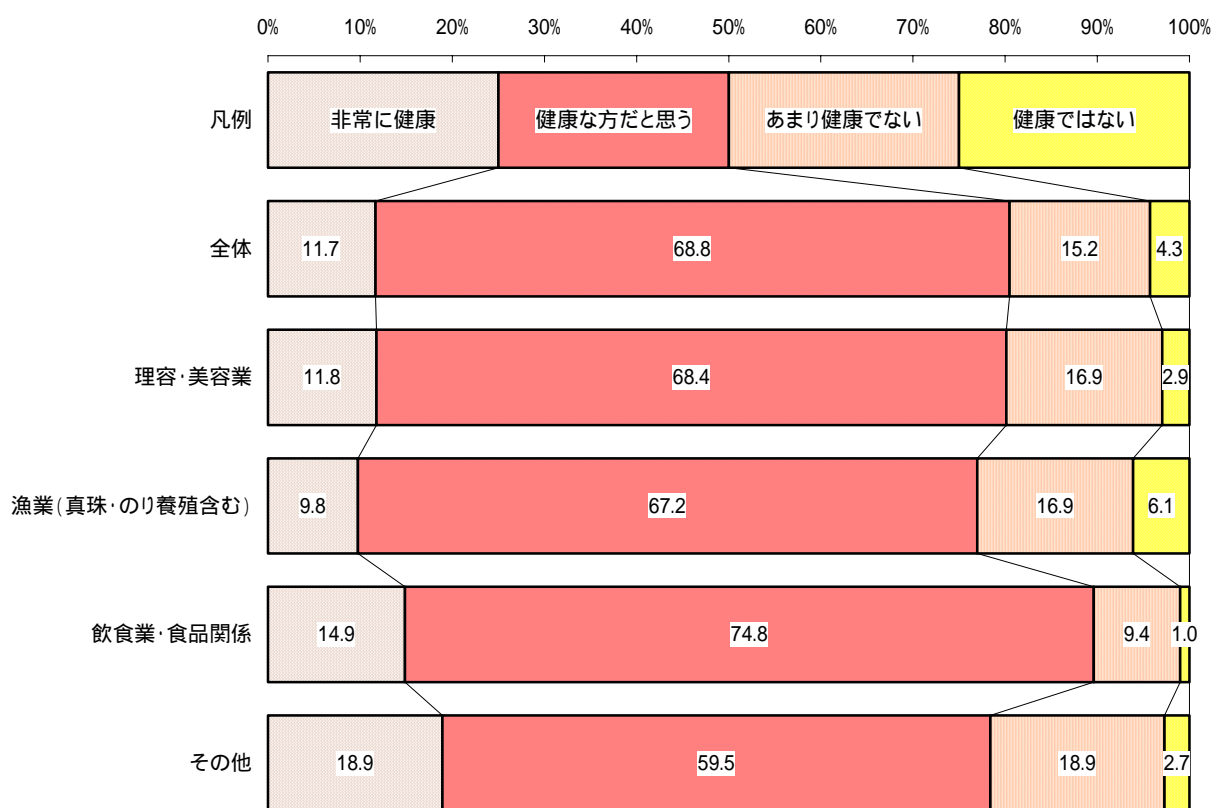


(6) 職業と健康感

全ての職業において、健康感が「健康な方だと思ふ」が半数以上を占め、職業別では「飲食業・食品関係」の74.8%、続いて「理容・美容業」「漁業（真珠・のり養殖含む）」がほぼ同じで約68.4%、67.2%などの順となっている。

図表 職業と健康感

職業	非常に健康	健康な方だと思ふ	あまり健康でない	健康ではない	総計(人)
理容・美容業	16	93	23	4	136
漁業(真珠・のり養殖含む)	48	330	83	30	491
飲食業・食品関係	30	151	19	2	202
その他	7	22	7	1	37
総計(人)	101	596	132	37	866

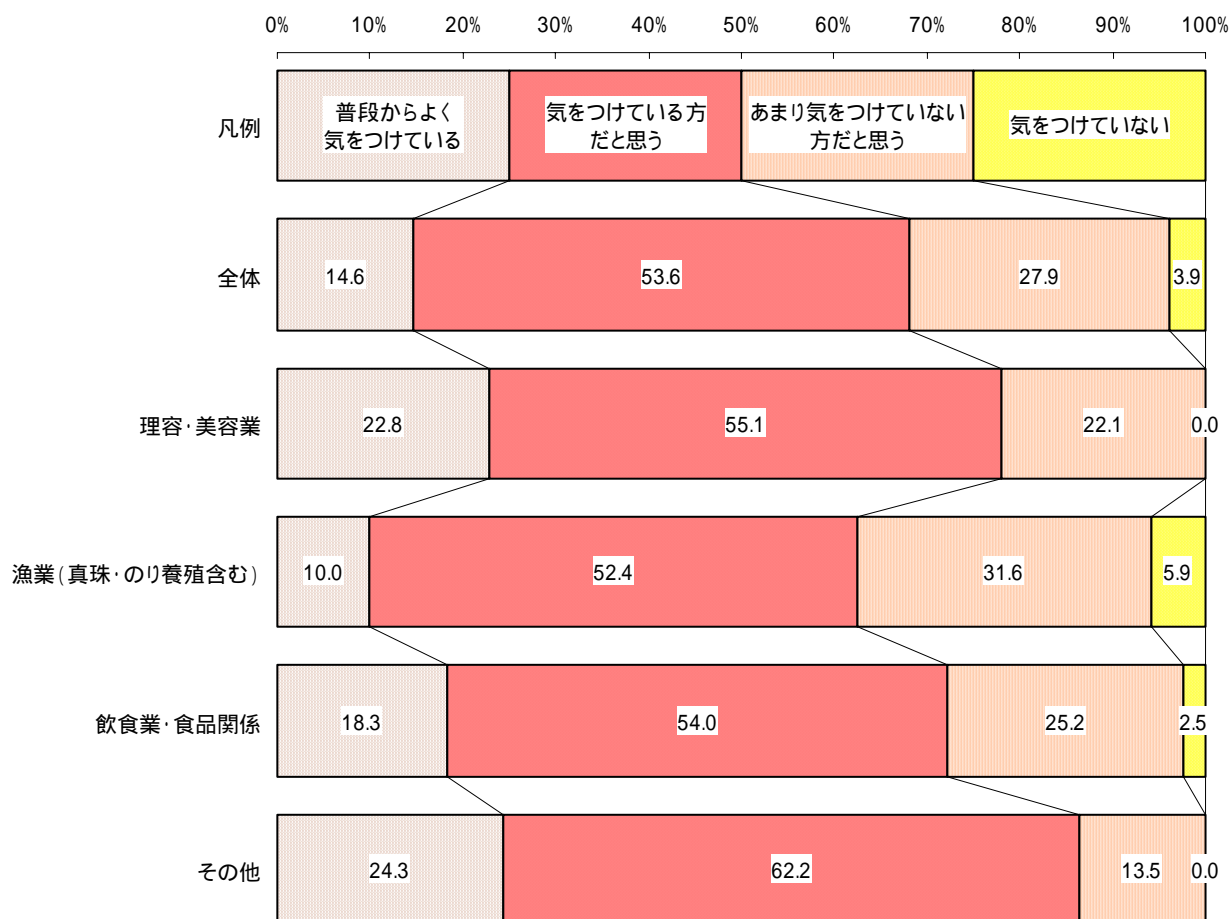


(7) 職業と健康への配慮

全ての職業において、健康への配慮が「気をつけている方だと思う」が半数以上を占め、「気をつけていない」は全体的に少なくなっている。

図表 職業と健康への配慮

職業	普段からよく気をつけている	気をつけている方だと思う	あまり気をつけていない方だと思う	気をつけていない	総計(人)
理容・美容業	31	75	30		136
漁業(真珠・のり養殖含む)	49	257	155	29	490
飲食業・食品関係	37	109	51	5	202
その他	9	23	5		37
総計(人)	126	464	241	34	865

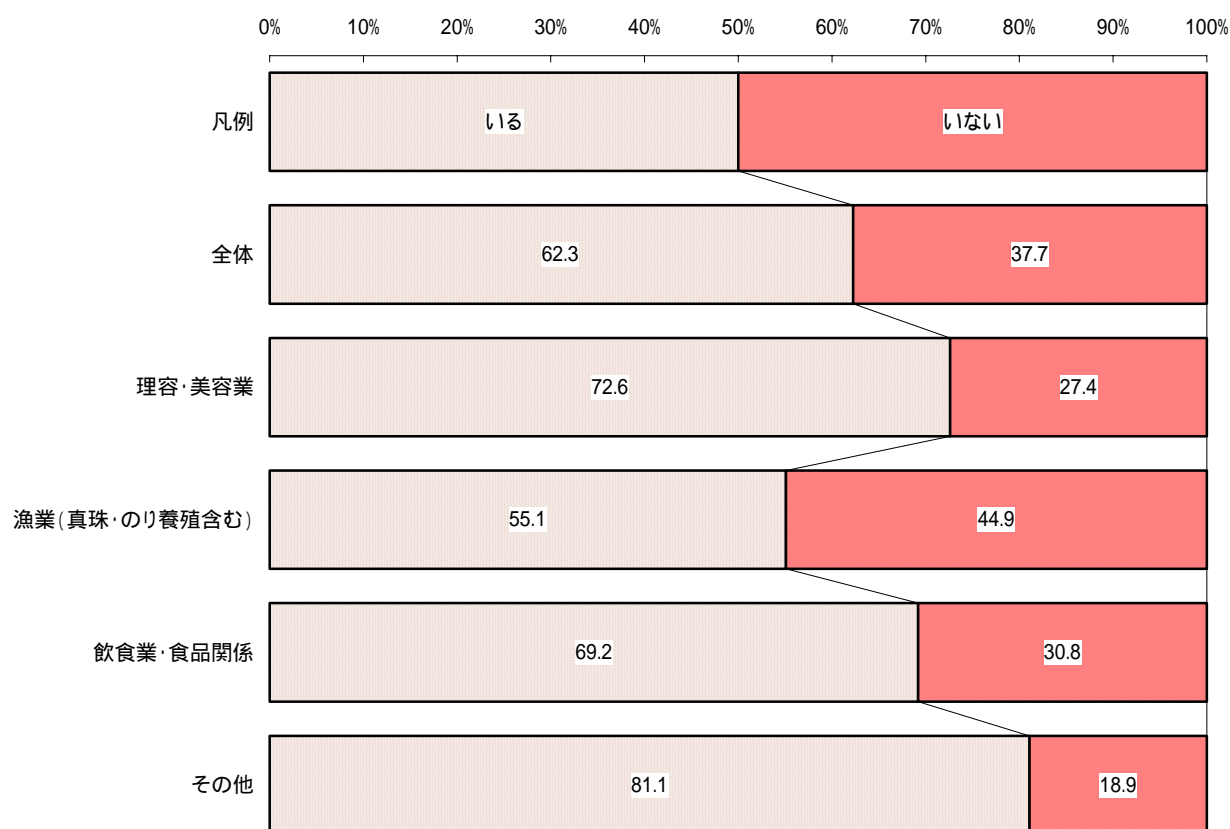


(8) 職業と相談相手の有無

その他を除く職業において、相談相手が「いる」が半数以上を占め、職業別では「理容・美容業」が72.6%で多く、続いて「飲食業・食品関係」の69.2%などの順になっている。

図表 職業と相談相手の有無

職業	いる	いない	総計(人)
理容・美容業	98	37	135
漁業(真珠・のり養殖含む)	266	217	483
飲食業・食品関係	137	61	198
その他	30	7	37
総計(人)	531	322	853

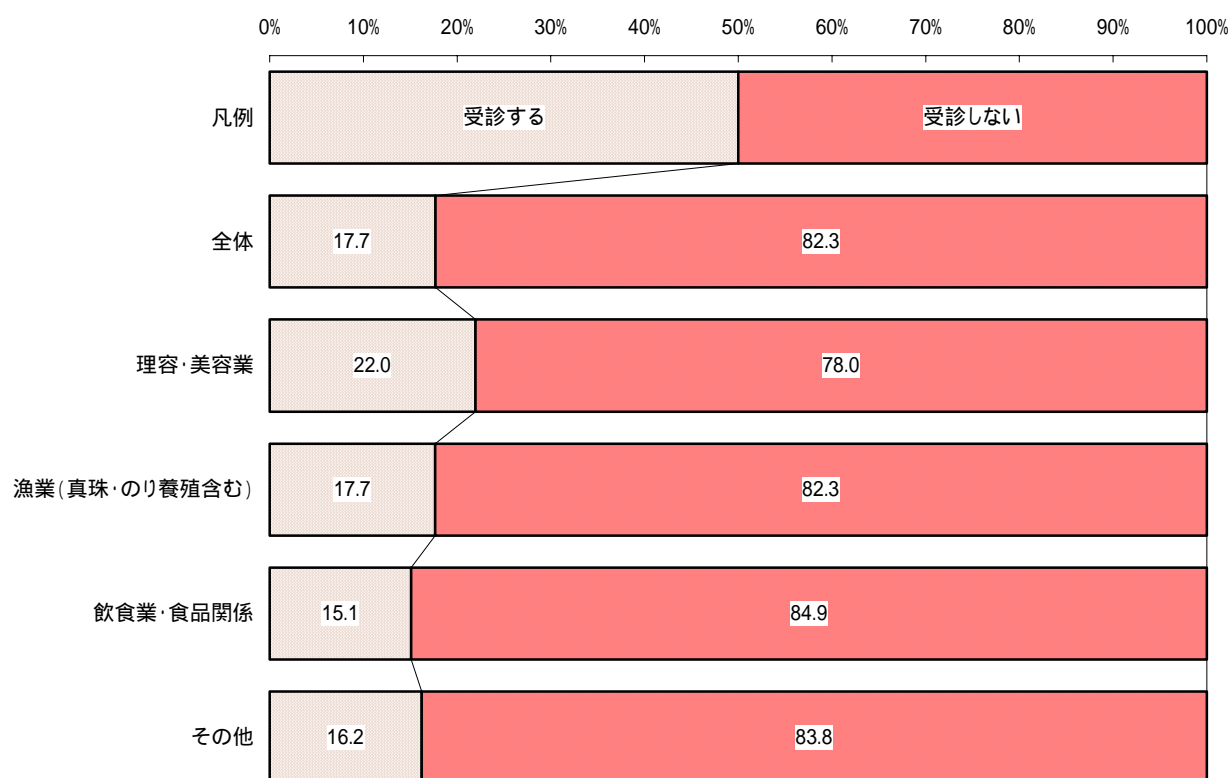


(9) 職業と精神科受診

全ての職業において、精神科受診は「受診しない」が約80%以上を占め、職業別でもほぼ同比率となっている。

図表 職業と精神科受診

職業	受診する	受診しない	総計(人)
理容・美容業	29	103	132
漁業(真珠・のり養殖含む)	85	396	481
飲食業・食品関係	29	163	192
その他	6	31	37
総計(人)	149	693	842

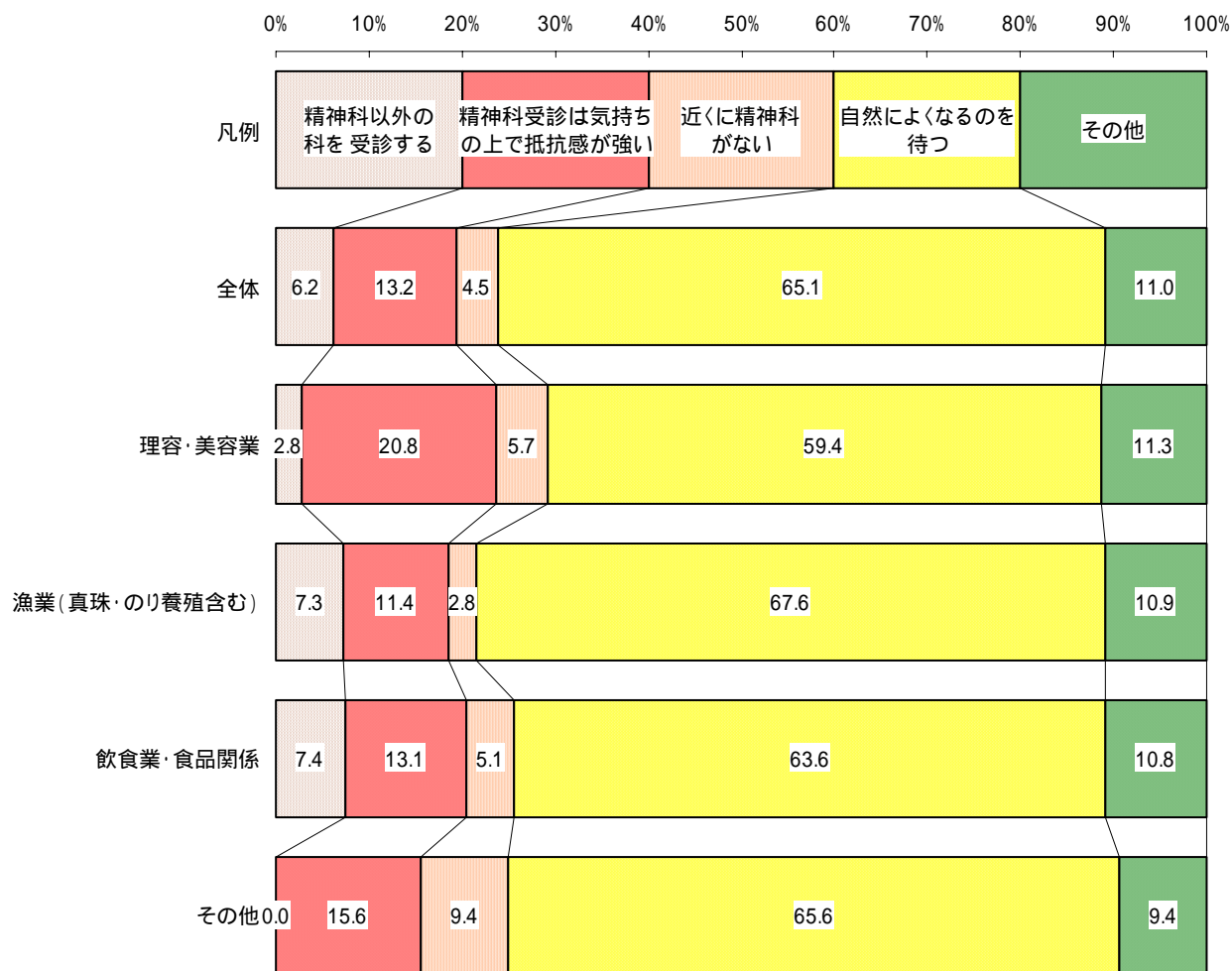


(10) 職業と精神科受診しない理由

全ての職業において、精神科受診をしない理由としては「自然によくなるのを待つ」が約 60%以上を占め、職業別でもほぼ同比率となっている。

図表 職業と精神科受診しない理由

職業	精神科以外の科を受診する	精神科受診は気持ちの上で抵抗感が強い	近くに精神科がない	自然によくなるのを待つ	その他	総計(人)
理容・美容業	3	22	6	63	12	106
漁業(真珠・のり養殖含む)	28	44	11	261	42	386
飲食業・食品関係	13	23	9	112	19	176
その他		5	3	21	3	32
総計(人)	44	94	29	457	76	700

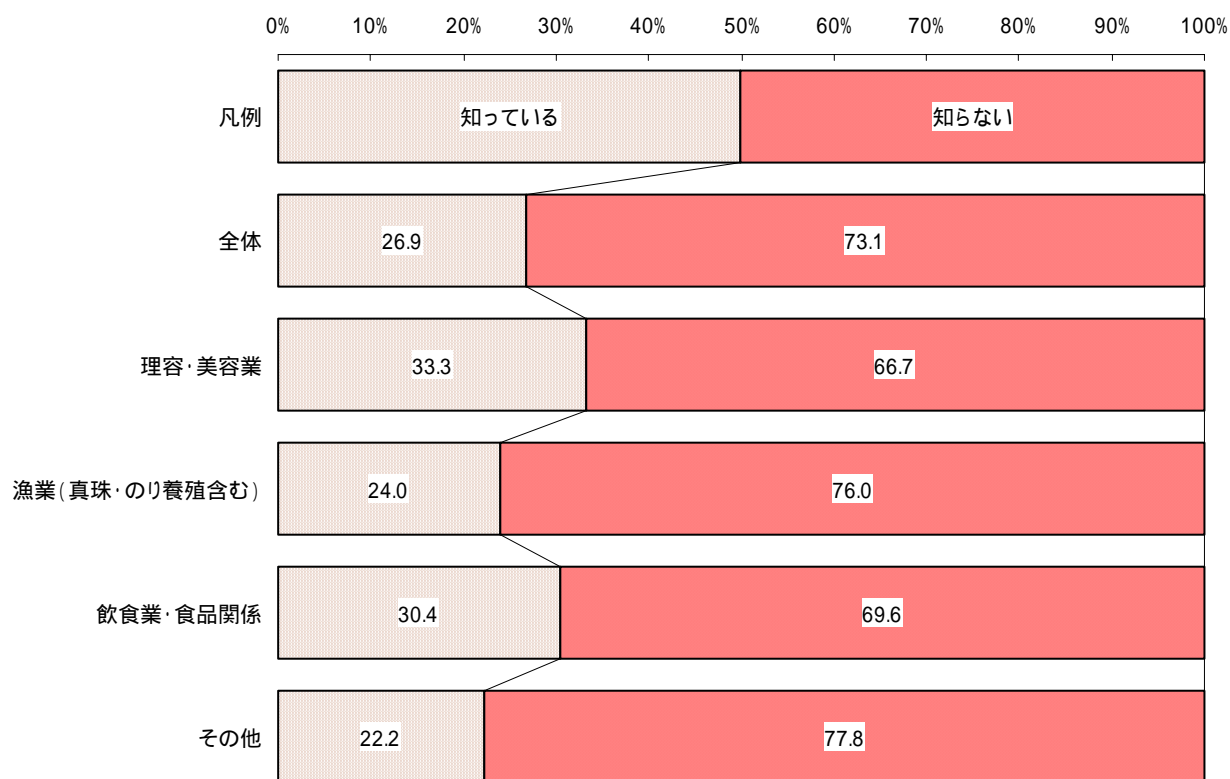


(11) 職業と精神科以外の窓口

その他を除く職業において、精神科相談窓口を「知らない」が約 60%以上を占めており、職業別の「漁業（真珠・のり養殖含む）」が 76.0%を占めて最も多くなっている。

図表 職業と精神科以外の窓口

職業	知っている	知らない	総計(人)
理容・美容業	44	88	132
漁業(真珠・のり養殖含む)	114	361	475
飲食業・食品関係	58	133	191
その他	8	28	36
総計(人)	224	610	834

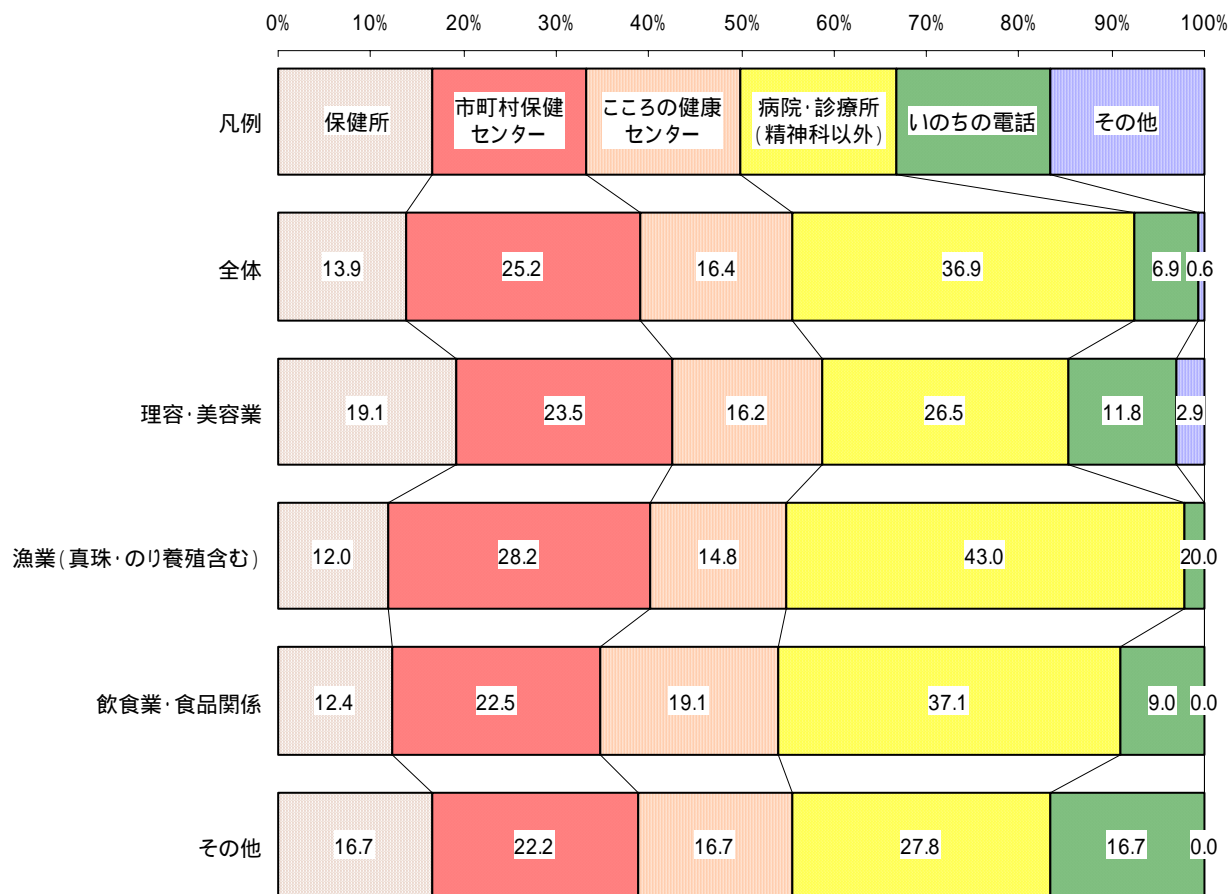


(12) 職業と知っている精神科以外の窓口

全ての職業において、「病院・診療所（精神科以外）」が多く、続いて「市町村保健センター」「こころの健康センター」の順で、職業別でもほぼ同比率となっている。

図表 職業と知っている精神科以外の窓口

職業	保健所	市町村保健センター	こころの健康センター	病院・診療所 (精神科以外)	いのちの電話	その他	総計 (人)
理容・美容業	13	16	11	18	8	2	68
漁業(真珠・のり養殖含む)	17	40	21	61	3		142
飲食業・食品関係	11	20	17	33	8		89
その他	3	4	3	5	3		18
総計(人)	44	80	52	117	22	2	317

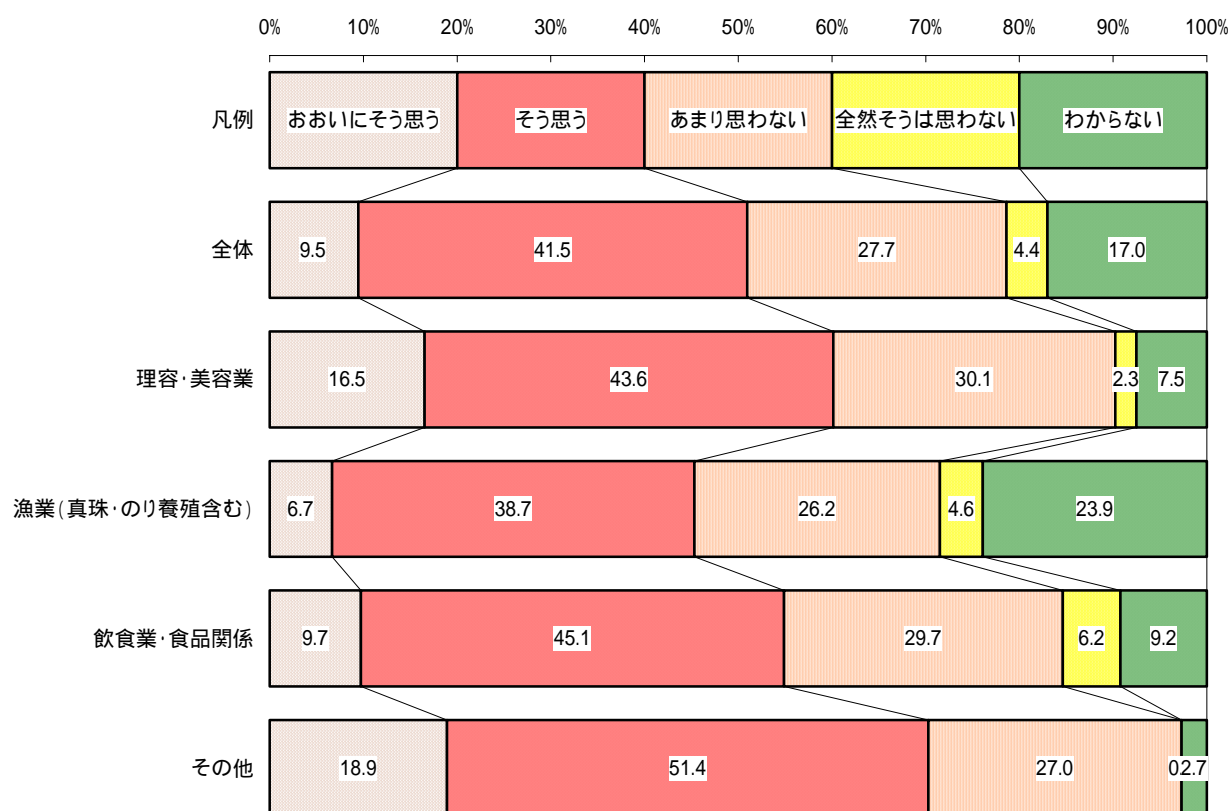


(13) 職業とストレスとうつ病との関係

全ての職業において、ストレスとうつ病との関係を「そう思う」が多く、職業別では「飲食業・食品関係」「理容・美容業」の順で、ほぼ同比率となっている。「わからない」が最も多い職業は「漁業(真珠・のり養殖含む)」の23.9%であった。

図表 職業とストレスとうつ病との関係

職業	おおいにそう思う	そう思う	あまり思わない	全然そうは思わない	わからない	総計(人)
理容・美容業	22	58	40	3	10	133
漁業(真珠・のり養殖含む)	32	186	126	22	115	481
飲食業・食品関係	19	88	58	12	18	195
その他	7	19	10		1	37
総計(人)	80	351	234	37	144	846

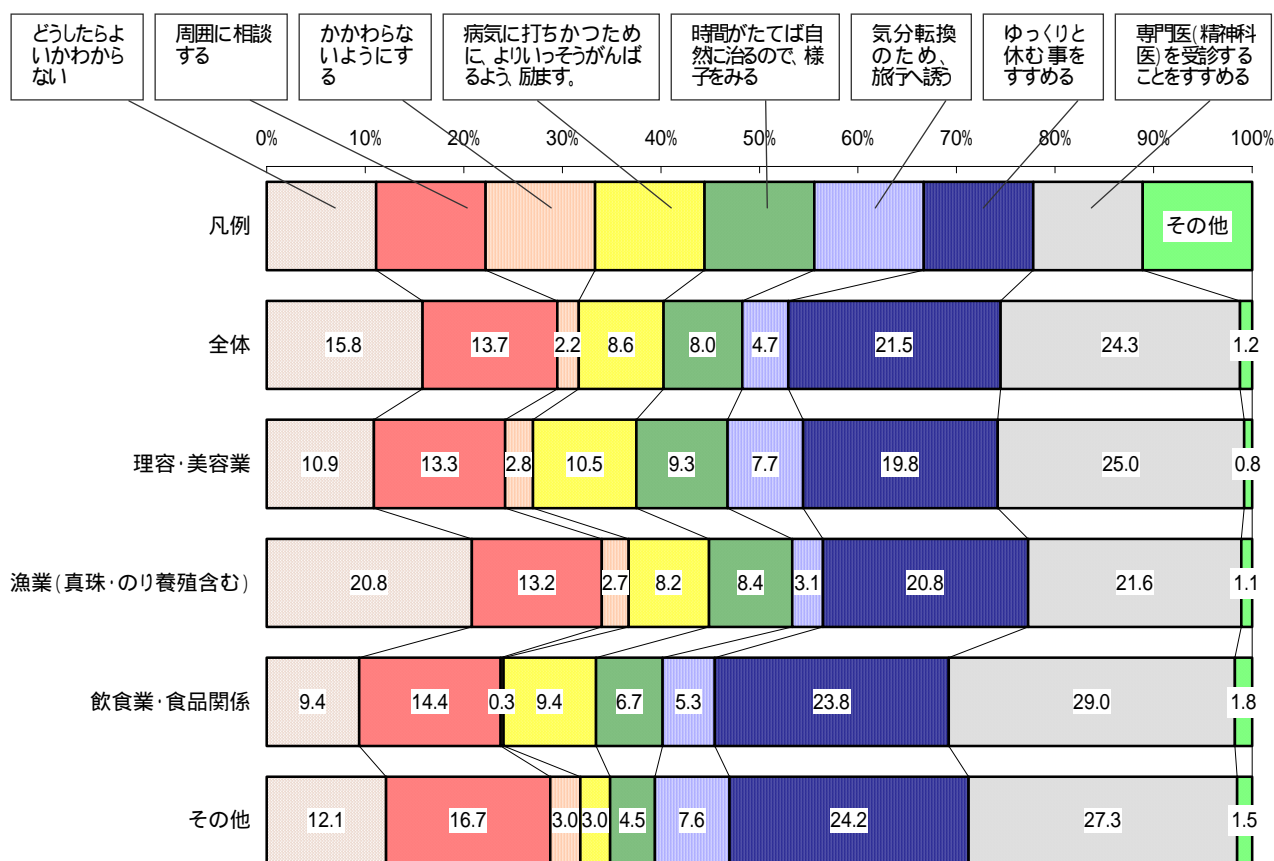


(14) 職業とうつ病患者への対応

全ての職業において、うつ病患者への対応を「専門医（精神科医）を受診することをすすめる」「ゆっくりと休む事をすすめる」がほぼ同比率で多くを占めている。また、うつ病患者への対応で「どうしたらよいかわからない」が最も多い職業は「漁業（真珠・のり養殖含む）」の20.8%であった。

図表 職業とうつ病患者への対応

職業	どうしたらよいか わからない	周囲に相談する	かかわらないよ うにする	病気に打ちかつた めに、よりいっそ うがんばるよう、 励ます。	時間がたてば自 然に治るので、様 子をみる	気分転換のため、 旅行へ誘う	ゆっくりと休む事 をすすめる	専門医（精神科 医）を受診するこ とをすすめる	その他	総計（人）
理容・美容業	27	33	7	26	23	19	49	62	2	248
漁業（真珠・のり養殖含む）	153	97	20	60	62	23	153	159	8	735
飲食業・食品関係	32	49	1	32	23	18	81	99	6	341
その他	8	11	2	2	3	5	16	18	1	66
総計（人）	220	190	30	120	111	65	299	338	17	1390

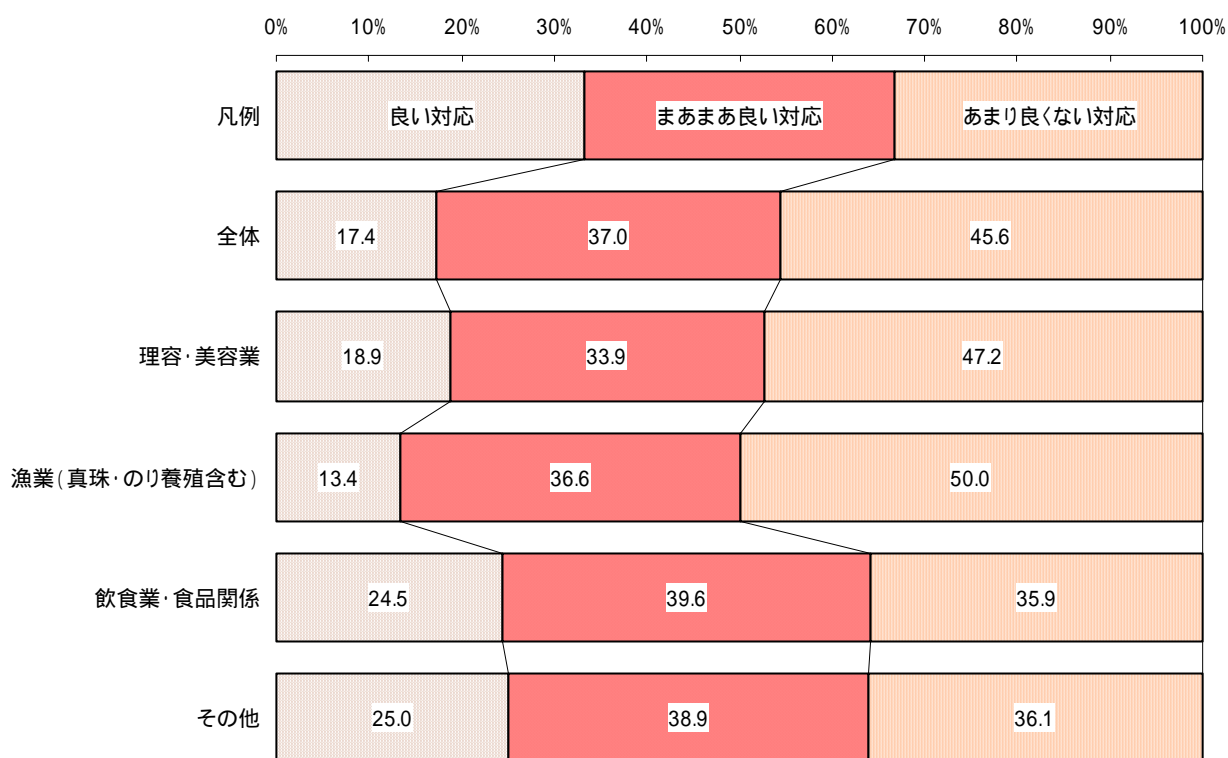


(15) 職業とうつ病患者への対応（3区分）

全ての職業において、うつ病患者への対応が「あまり良くない対応」が平均的に多く、「まあまあ良い対応」がほぼ同比率となっている。「あまり良くない対応」で最も多かった職業は「漁業（真珠・のり養殖含む）」の50.0%で、続いて「理容・美容業」の47.2%などの順となっている。

図表 職業とうつ病患者への対応（3区分）

職業	良い対応	まあまあ良い対応	あまり良くない対応	総計(人)
理容・美容業	24	43	60	127
漁業(真珠・のり養殖含む)	61	167	228	456
飲食業・食品関係	47	76	69	192
その他	9	14	13	36
総計(人)	141	300	370	811

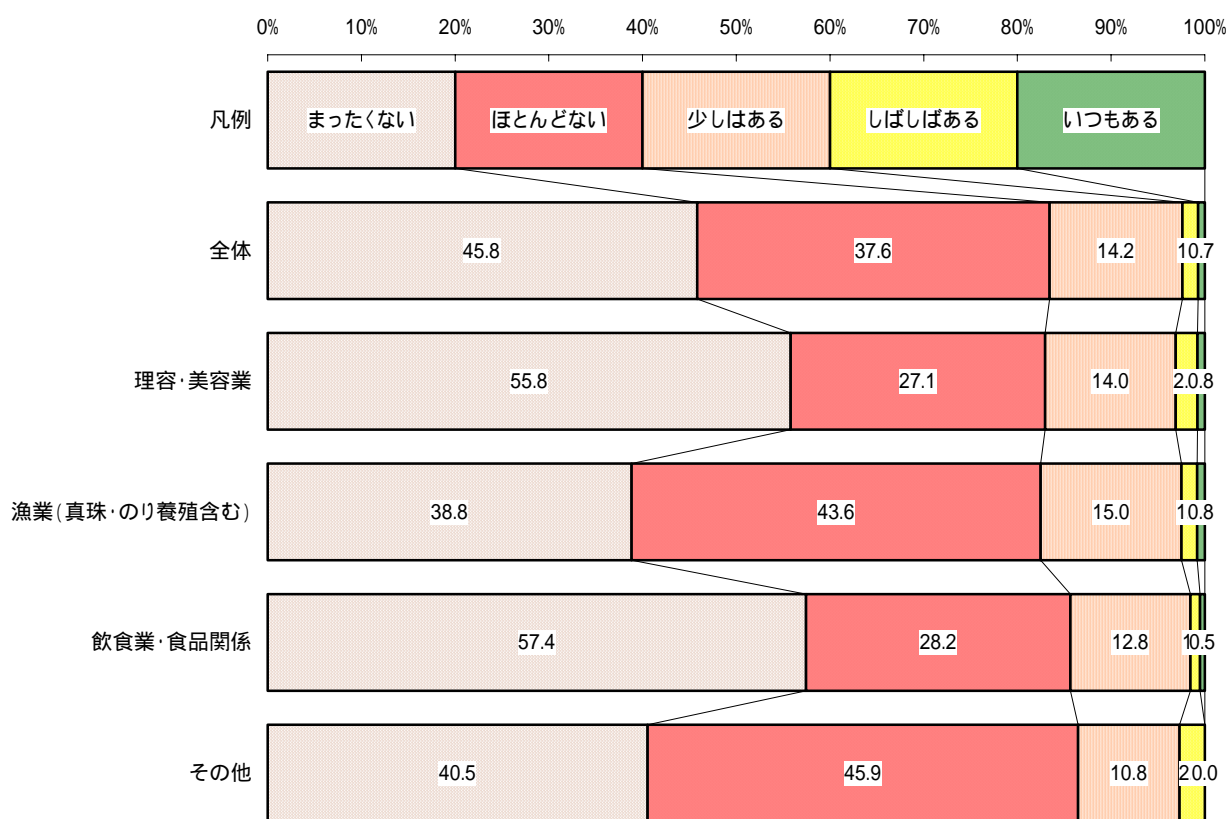


(16) 職業と希死念慮

希死念慮について「まったくない」と答えたのは「飲食業・食品関係」と「理容・美容業」でほぼ同率で半数以上を占めている。

図表 職業と希死念慮

職業	まったくない	ほとんどない	少しはある	しばしばある	いつもある	総計(人)
理容・美容業	72	35	18	3	1	129
漁業(真珠・のり養殖含む)	186	209	72	8	4	479
飲食業・食品関係	112	55	25	2	1	195
その他	15	17	4	1		37
総計(人)	385	316	119	14	6	840

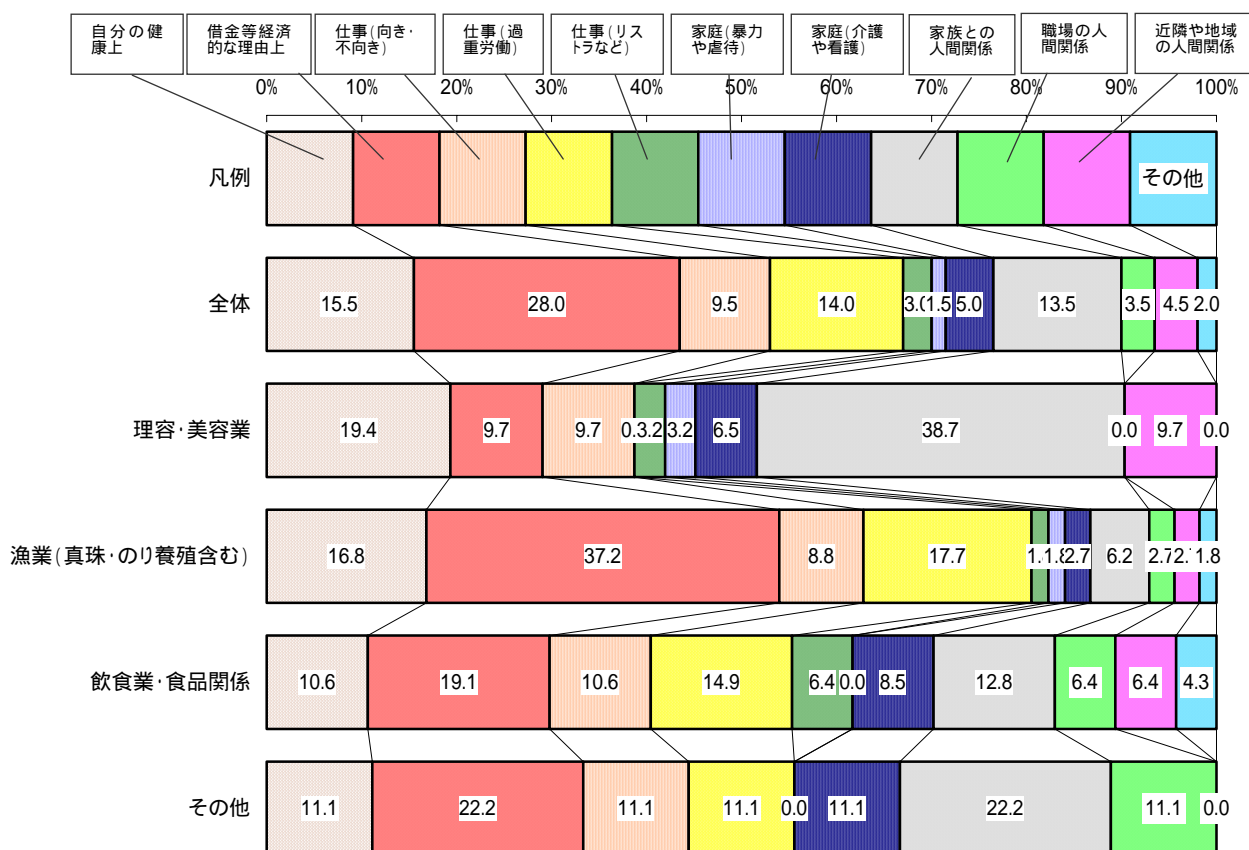


(17) 職業と希死念慮理由

希死念慮の理由については、「借金等経済的な理由」が多く、職業別では「漁業（真珠・のり養殖含む）」が37.2%を占め最も多い。また、「家族との人間関係」と答えた職業は「理容・美容業」で38.7%と多くなっている。

図表 職業と希死念慮理由

職業	上 自 分 の 健 康	借 金 等 経 済 的 な 理 由	仕 事 ( 向 き ・ 不 向 き )	仕 事 ( 過 重 労 働 )	仕 事 ( リ ス ト ラ な ど )	家 庭 ( 暴 力 や 虐 待 )	家 庭 ( 介 護 や 看 護 )	家 族 と の 人 間 関 係	職 場 の 人 間 関 係	近 隣 や 地 域 の 人 間 関 係	そ の 他	総 計 ( 人 )
理容・美容業	6	3	3		1	1	2	12		3		31
漁業(真珠・のり養殖含む)	19	42	10	20	2	2	3	7	3	3	2	113
飲食業・食品関係	5	9	5	7	3		4	6	3	3	2	47
その他	1	2	1	1			1	2	1			9
総計(人)	31	56	19	28	6	3	10	27	7	9	4	200

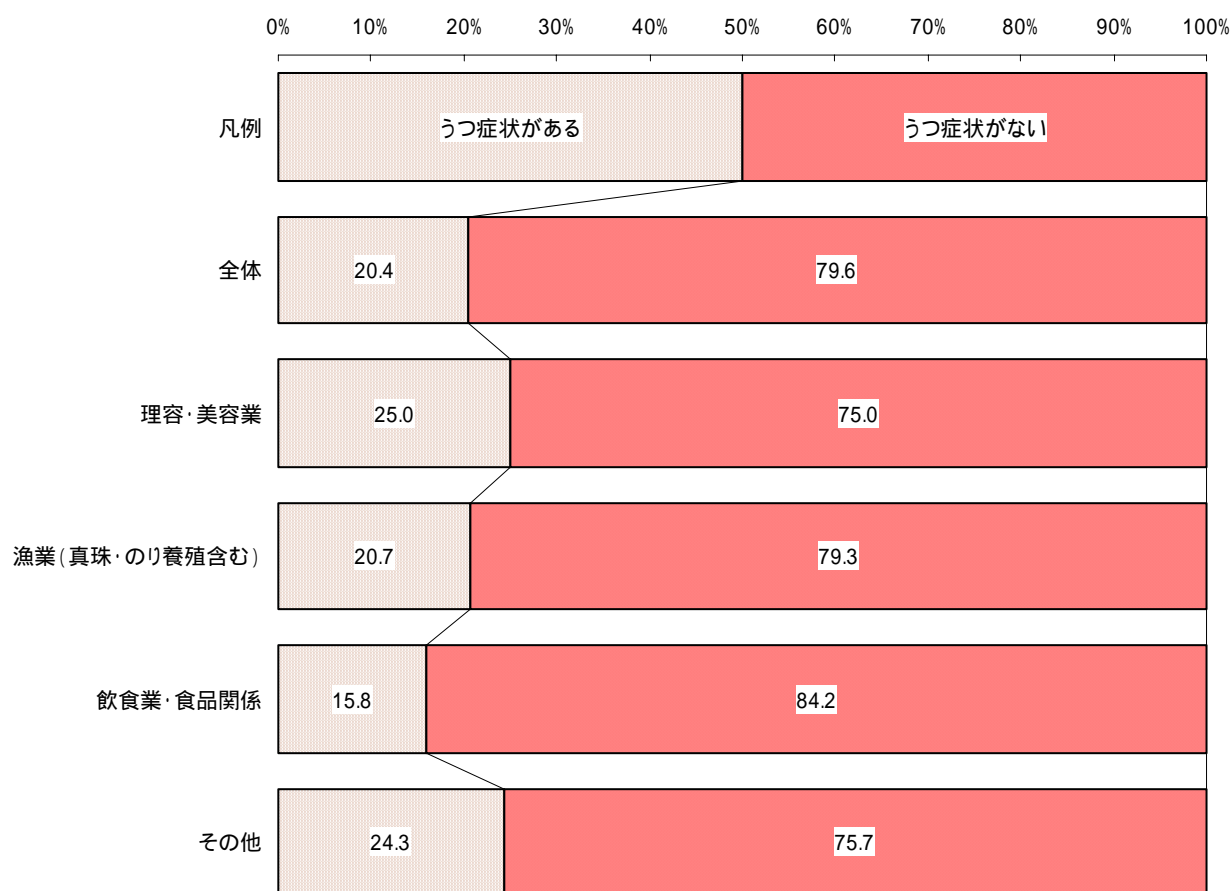


(18) 職業とうつ症状の有無

全ての職業において、「うつ症状がない」が70%以上を占めており、職業別では「飲食業・食品関係」が84.2%を占め最も多くなっている。

図表 職業とうつ症状の有無

職業	うつ症状がある	うつ症状がない	総計(人)
理容・美容業	34	102	136
漁業(真珠・のり養殖含む)	102	391	493
飲食業・食品関係	32	170	202
その他	9	28	37
総計(人)	177	691	868

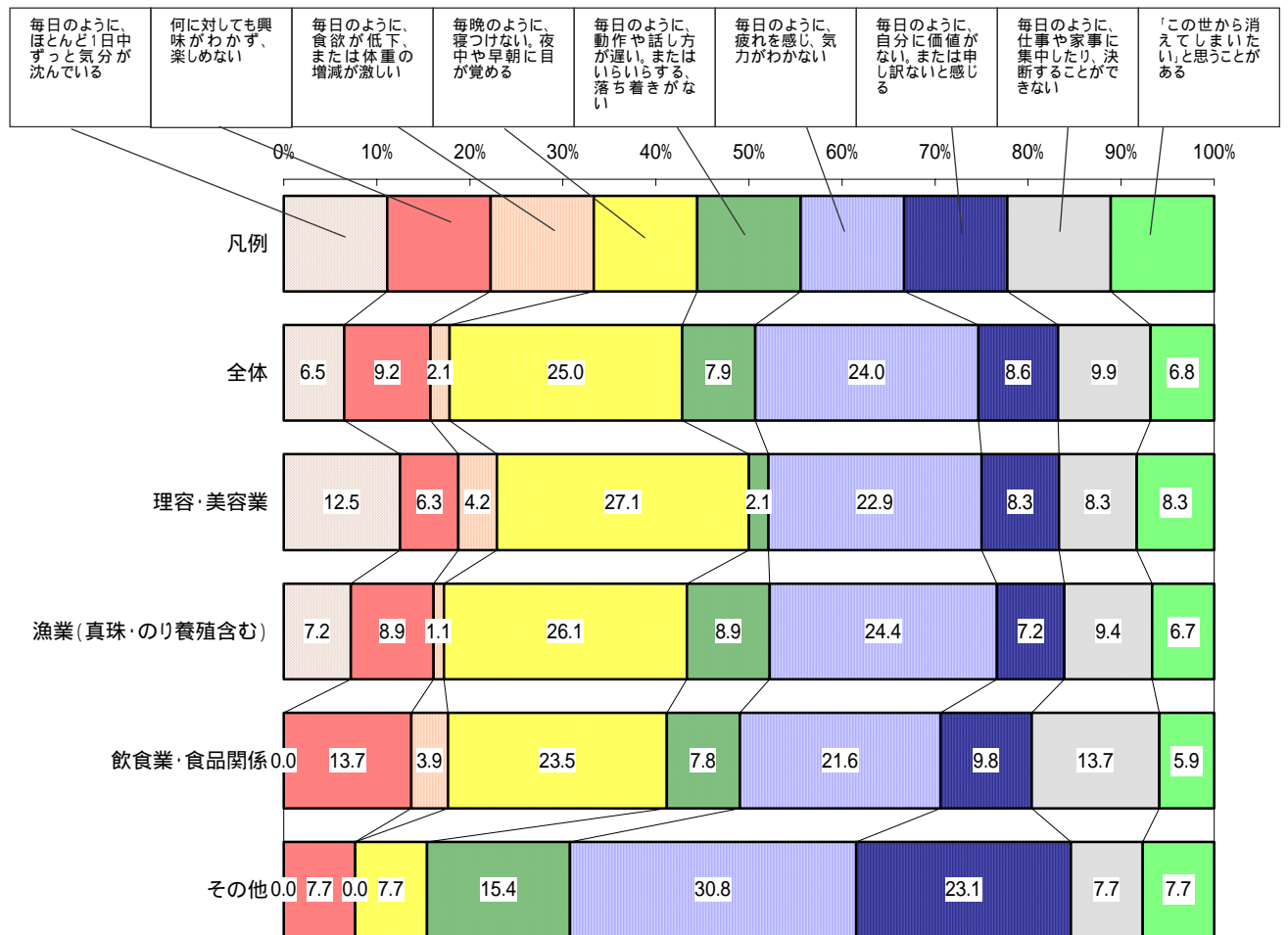


(19) 職業とうつ症状

その他を除く職業において、「毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める」と「毎日のように、疲れを感じ、気がわかない」がほぼ同比率で多くを占めている。

図表 職業とうつ症状

職業	毎日のように、ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる	何に対しても興味がわかず、楽しめない	毎日のように、食欲が低下、または体重の増減が激しい	毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める	毎日のように、動作や話し方が遅い、またはいらいらする、落ち着きがない	毎日のように、疲れを感じ、気がわかない	毎日のように、自分に価値がない、または申し訳ないと感じる	毎日のように、仕事や家事に集中したり、決断することができない	「この世から消えてしまいたい」と思うことがある	総計(人)
理容・美容業	6	3	2	13	1	11	4	4	4	48
漁業(真珠・のり養殖含む)	13	16	2	47	16	44	13	17	12	180
飲食業・食品関係		7	2	12	4	11	5	7	3	51
その他		1		1	2	4	3	1	1	13
総計(人)	19	27	6	73	23	70	25	29	20	292



---

### 3 . 調査票

## 南勢志摩こころの健康づくり健康意識調査

近年、我が国の自殺による死亡者は急増し三万人を超えています。南勢志摩地域も例外ではなく、むしろ自殺死亡者の増加率については全国の中でも高い傾向がみられています。

自殺の背景には、ストレスの増加やうつ病などのこころの健康問題が存在しているといわれています。

今回のこの調査は、県民の皆様のこころの健康状態や、健康づくりに対する意識についてお尋ねさせていただくことにより、地域の現在の状況の把握と今後の取り組みを検討するために実施するものです。

調査の結果は統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは決してありません。

つきましては、御多忙の時期に誠に恐縮に存じますが、是非とも御協力いただきますようお願い申し上げます。

### ご記入方法

ご回答は、あてはまるものを選び、番号に 印をつけてください。印をつける数は、設問の最後に（1つだけに 印）といった説明がありますので、それに従いご記入ください。

設問のなかで「記入」とあるものについては、案内にしたがって

内に数字や文字などを記入してください。

記入方法などについて、わからない点がございましたら、下記までお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

三重県 南勢志摩県民局保健福祉部 企画市町村支援グループ

担当者：鈴木、増田

電話：0596 - 27 - 5134

あなた自身についてうかがいます

問1 性別・年齢について記入してください。(性別はどちらかに 印、年齢は平成17年10月1日現在の満年齢)

1 男	2 女		歳
-----	-----	--	---

問2 あなたのお住まいの市町村名はどこですか？(平成17年10月1日現在の住民登録をしている市町村の名前を記入して下さい。(伊勢市については日市町村名を記入して下さい))

	市・町・村
--	-------

問3 あなたの現在の主たる職業についてお伺いします。

問3-1 職業は次のどれですか？(どれか1つに 印)

1 理容・美容業	2 漁業(真珠・のり養殖含む)
3 飲食業	4 その他(具体的にお書きください)

問3-2 就業形態は次のどれですか？(どれか1つに 印)

1 雇い主	2 雇われている(常勤)	3 雇われている(非常勤)
4 その他( )		

問3-3 あなたの職場の総人数は次の内どれに該当しますか。(どれか1つに 印)

1 1人	2 2~5人	3 6~9人	4 10~19人
5 20~29人	6 30~39人	7 40~49人	8 50人以上

問4 あなたの家族構成は次のどれですか？(どれか1つに 印)

1 夫婦世帯	2 2世代(例:子どもと夫婦)
3 3世代以上(例:子どもと夫婦とその両親)	4 その他親族世帯(例:兄弟など)
5 ひとり暮らし	6 その他( )

問5 あなたは自分で健康だと感じていますか。(どれか1つに 印)

1 非常に健康	2 健康な方だと思う
3 あまり健康でない	4 健康ではない

問6 あなたはふだんから健康に気をつけていますか。(どれか1つに 印)

1 普段からよく気をつけている	2 気をつけている方だと思う
3 あまり気をつけていない方だと思う	4 気をつけていない



問11 もしあなたのまわりに、うつ病の人がいたら、どうしますか。  
あてはまるものすべてに をつけてください。(いくつでも)

- 1 どうしたらよいかわからない。
- 2 周囲に相談する。
- 3 かかわらないようにする。
- 4 病気に打ちかつために、よりいっそうがんばるよう、はげます。
- 5 時間がたてば自然に治るので、様子を見る。
- 6 気分転換のため、旅行へ誘う。
- 7 ゆっくりと休む事をすすめる。
- 8 専門医(精神科医)を受診することをすすめる。
- 9 その他( )

問12 最近1年以内に気分がひどく落ち込んで、もう死んでもかまわないと思ったことはありますか。  
あてはまるものを選んでください。(どれか1つに 印)

- |          |          |         |
|----------|----------|---------|
| 1 まったくない | 2 ほとんどない | 3 少しはある |
| 4 しばしばある | 5 いつもある  |         |

問12-1 問12で、3~5のいずれかを選んだ方にお尋ねします。気分がひどく落ち込んで、もう死んでもかまわないと思った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 1 自分の健康上      | 2 借金等経済的な理由  | 3 仕事(向き・不向き) |
| 4 仕事(過重労働)    | 5 仕事(リストラなど) | 6 家庭(暴力や虐待)  |
| 7 家庭(介護や看護)   | 8 家族との人間関係   | 9 職場の人間関係    |
| 10 近隣や地域の人間関係 | 11 その他( )    |              |

問13 ここ2週間の中に下記の項目で当てはまるものがあればすべてにをつけてください(いくつでも)

- 1 毎日のように、ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる。
- 2 何に対しても興味がわかず、楽しめない。
- 3 毎日のように、食欲が低下、または体重の増減が激しい。
- 4 毎晩のように、寝つけない。夜中や早朝に目が覚める。
- 5 毎日のように、動作や話し方が遅い。またはいらいらする、落ち着きがない。
- 6 毎日のように、疲れを感じ、気力がわかない。
- 7 毎日のように、自分に価値がない。または申し訳ないと感じる。
- 8 毎日のように、仕事や家事に集中したり、決断することができない。
- 9 「この世から消えてしまいたい」と思うことがある。

「M.I.N.I 精神疾患簡易構造化面接法」より

#### 自由記入欄

このアンケート調査や南勢志摩県民局保健福祉部こころの健康づくりへの取り組みについて、ご意見、アイデアなどがありましたらご記入ください。


ご協力ありがとうございました。

三重県 南勢志摩県民局保健福祉部 企画市町村支援グループ

「豊かにあれ健康づくり運動」の取り組みは、下記の県ホームページでも紹介しています。

<http://www.pref.mie.jp/NHOKEN/HP/>